

ほんはともだち '14

子どもの心を育てる
良書目録



ブックル

広島市こども図書館

※ ブックルは、広島市こども図書館にずっと住んでいる、本の妖精です。

ほんはともだち'14

(2012年4月～2014年3月)

付. 子どもたちへ原爆を語りつぐ本 - 総集版・2005 - 補遺版5

目 次

はじめに	
凡 例	
フィクション	1
幼児から	1
小学校低学年から	12
小学校中学年から	23
小学校高学年から	34
中学生から	44
ノンフィクション	54
付. 子どもたちへ原爆を語りつぐ本	
- 総集版・2005 - 補遺版5	65
さくいん	81
原爆関係児童図書リスト	87
図書館案内	120
編集委員	122

は じ め に

昭和41年（1966年）度から隔年で発行しているこの目録も、今回で第25回となりました。第1回の編集を開始した昭和40年（1965年）度当時とは、子どもを取り巻く状況も大きく変わり、情報が満ち溢れる時代となりました。しかしながら、子どもたちに本に親しんでほしい、本との出会いによって言葉や知識・知恵を学び、感情や情緒、想像力や創造力を養い、豊かな人間性を育み自ら考え、生きる力をつけていってほしいという願いは、50年間、変わることなく受け継がれてきています。

本リストでは、毎年数多く出版される児童書のうち、過去2年間の新刊から公募委員と当館の職員で選定しましたおすすめの本214点を紹介しています。また、紹介する本の表紙をカラーで印刷し、本をイメージしやすくしました。

子どもたちが読書を楽しむためには、周囲の大人の働きかけが大きな力を持っています。家庭・地域・学校等で子どもたちに本を手渡される大人の方にこの目録を活用していただき、子どもたちが新たにすばらしい本と出会い、読書の楽しみや喜びを感じることができるよう願っております。

最後になりましたが、今回の発行にあたりご協力いただいた編集委員の皆様はもちろんのこと、第1回から前回まで、長年にわたり編集委員として一方ならぬご尽力をいただきました「広島市よい本をすすめる母の会」に対しまして厚くお礼申し上げます。

平成27年（2015年）3月

広島市こども図書館
館長 野口 雅子

凡 例

1. この目録に収録した図書は、原則として平成 24（2012）年 4 月から平成 26（2014）年 3 月末までに発行されたものです。
2. 幼児から中学生までを対象に 214 冊選んでいます。
3. 図書は、その内容によって、フィクション・ノンフィクションに分けてあります。
目安として対象別（5 段階）に分けていますが、実際にはそれぞれの子どもに応じて選んでください。
4. 付として、『子どもたちへ原爆を語りつぐ本－総集版・2005－』の補遺版をつけています。図書は、その内容から次の 4 テーマに分類しました。

- (1) 紙芝居
- (2) 絵本
- (3) フィクション
- (4) ノンフィクション

※従来は 5 テーマですが、今回、詩歌は該当がありませんでした。

また、記述が広島に関するものは〈広〉、長崎に関するものは〈長〉としています。

当館所蔵の原爆関係児童図書リストも掲載していますので、あわせてご利用ください。

5. 配列は、日本十進分類法（NDC）新訂9版による分類の番号順とし、同一分類内は、著者名の五十音順となっています。なお、絵本は、Eの記号を付し、書名の五十音順に並べています。
6. 図書に関する記載事項は、原則として請求記号、書名、副書名、シリーズ名、著編者・訳者・画家名、出版社、ページ数（P）、価格（¥）の順になっています。ただし、『子どもたちへ原爆を語りつぐ本－総集版・2005－』の補遺版では、価格のかわりに出版年を記載しています。
7. 図書がわかりやすいように、現物の写真を添えています。
8. 巻末に書名索引を付しています。配列は五十音順とし、清音・濁音・半濁音の区別はしていません。
9. 価格は（¥本体価格＋税）という形で表示し、本体価格の金額のみを記載しています。また、物価事情により変動することがありますので、ご了承ください。

フィクション

幼 児 か ら

(29 点)

E
あかちゃんかたつむりのおうち
(幼児絵本ふしぎなたねシリーズ)



いとう せつこ ぶん
島津 和子 え
福音館書店 24P ￥800+税

生まれたばかりの赤ちゃんかたつむりは、おなかがぺっこぺこ。でもいっぱい食べて大きくなって、背中のおうちに入れなくなったらどうしよう……。小さな赤ちゃんが少しずつ成長していく様子がよくわかる。かたつむりを取り巻く自然の描写が美しい。

幼児から

E

いけのおと

(幼児絵本ふしぎなたねシリーズ)



松岡達英 さく

福音館書店 24P ¥800+税

「げえこ げえこ げえこ」「ぼちゃん ぼちゃん ぼちゃん」。森の小さな池で、いろいろな生き物たちが動き始める。かえるの鳴き声、雨が降りそそぐ音、虫が葉っぱを食べる音など、自然の営みから生まれる様々な音を、やさしい色調の絵で届ける。

E

いちじくになんじん

(0. 1. 2. えほん)



大阪YWCA千里子ども図書室 案

ごんもり なつこ 絵

福音館書店 20P ¥700+税

いちじく、になんじん、さんしょに、しいたけ、ごぼうに——。昔から親しまれてきた数え歌に、思わず手に取りたくなるほど写実的な絵を添えた、わらべうた絵本。見開き1場面に1つずつ、大きく描かれた野菜たちは、迫力いっぱい。一緒に歌いながら楽しめる。

E

1はゴリラ



アンソニー・ブラウン 作

さくま ゆみこ 訳

岩波書店 25P ¥1,300+税

1はゴリラ、2はオランウータンの親子、3は……。1頭ずつ増えていくサルたちの顔は、色鮮やかで精密に描かれ、表情豊か。最後に登場するのは、同じ霊長類である、私たち人間。見る度に多くの発見があり、楽しみながら「数」と出会うことができる一冊。

幼児から

E
おもちゃびじゅつかんでかくれんぼ



デイヴィッド・ルーカス 作
なかがわ ちひろ 訳
徳間書店 25P ￥1,400+税

毎晩、おもちゃたちは棚から動き出す。ねこのぬいぐるみのバンドンが出席を取り、美術館の歴史を話す。ところがある夜みんなは、バンドンを一人残していなくなり、おもちゃたちのかくれんぼが始まった。深みのある色使いで、おもちゃたちが生き生きと描かれる。

E
おやすみおやすみ



シャーロット・ゾロトウ 文
ふしみ みさを 訳
ウラジーミル・ボブリ 絵
岩波書店 32P ￥1,400+税

クマは冬の間、巣穴でぐっすり眠る。ハトは体を寄せ合って、ほかほかクウクウ眠る。魚や虫、そして人間の子どもたちは……。グレーを基調としたしゃれた絵と、詩情豊かな語りかけが、幼い子どもたちを眠りの世界へと誘う。原題は『SLEEPY BOOK』で、1960年の出版。

E
くじらのあかちゃんおおきくなあれ
(こどものとも絵本)



神 沢 利 子 文
あ べ 弘 士 絵
福音館書店 32P ￥800+税

満月の夜、南の海で生まれたくじらの赤ちゃん。おかあさんたちに教わって、ジャンプやもぐる練習をし、春にはみんなと一緒に北の海に移動する。月も優しく語りかけながら、その成長を見守っている。はっきりした色合いの絵で、くじらの生態を力強く描く。

幼児から

E
くんくんにこいぬがうまれたよ



ディック・ブルーナ ぶん え
まつおか きょうこ やく
福音館書店 25P ￥700+税

犬のくんくんがおかあさんになった。生まれたばかりの子犬たちは、目も開いていないのに、もうおっぱいを飲み、歩き出す。少しずつ成長していく子犬を見る、くんくんの表情が優しい。はっきりした色と、単純化され丸みを帯びた形で描く。くんくんの本3冊目。

E
スプロケットお婆さんのポケット



クエンティン・ブレイク 作
谷川俊太郎 訳
好学社 29P ￥1,500+税

スプロケットお婆さんのコートにはポケットがいっぱいついていて、そこから何でも出てくる！ ワニにアイスクリームに、みどりとピンクのぞう……。躍動感あふれる自由な絵で、奇想天外なものが次々に現れてくる様子を描き、想像力をかきたてる。

E
そんなときどうする？
(岩波の子どもの本)



セシル・ジョスリン 文
こみや ゆ う 訳
モーリス・センダック 絵
岩波書店 48P ￥900+税

図書館で投げ縄をかけられたら、そんなときどうする？ ありえない状況に、意表をつく答えが返される。くすっと笑える、思わぬ発想の転換が楽しい。小気味よい言葉と場面を的確に表した絵で、礼儀作法をユーモラスに説く。『そんなときなんていう？』の姉妹版。

幼児から

E

ちぎゅうがウンチだらけにならないわけ



松岡 たつひで さく

福音館書店 40P ￥1,400+税

カラスもウサギも、みんなウンチを人に拾ってもらわない。なんでウンチをしたままなんだろう？ 飼い犬の視点で、ウンチの役割について語る。自然界のサイクルと、それに添わない人間に疑問を投げかける知識絵本。細かく観察した絵で、図鑑としても楽しめる。

E

つぎ、とまります
(幼児絵本シリーズ)



村田 エミコ 作

福音館書店 24P ￥800+税

わかば町行きのバスがとまるたび、お客さんが降りていく。どんぐりやまではくまのおやこ。こんぶはらっぱではたこのぼうや。そのたびに家族が迎えてくれる。「ただいま」「おかえりー」の繰り返し心地よく、白黒の木版画があたたかみを感じさせる。

E

つやっつやなす
(どーんとやさい)



いわさ ゆうこ さく

童心社 24P ￥1,100+税

暑い夏、ほっこんぽっこん、たくさんの実をつけるつやっつやのナス。色や形、大きさが違うナスの仲間も勢ぞろい。質感のある絵とリズムカルな言葉の響きに思わず引き込まれる科学絵本。裏表紙のたねの絵は実物大。シリーズにキャベツ、だいこんなどがある。

幼児から

E
でんしゃがきた



竹下文子作
鈴木まもる絵
偕成社 32P ￥1,000+税

電車が来た。一両だけの小さな電車や地下鉄・新幹線などが、田んぼの向こうや鉄橋の上、都会や海辺の町を走る。復興した三陸鉄道も走っていく。電車が通る各地の風景と、電車を待つ人々を、優しい色彩で描く。巻末には、参考にした線名・列車名を記載。

E
ねずみのつきめくり



谷川俊太郎 詩
レオ=レオニ 絵
好學社 25P ￥1,300+税

「ゆきはだまってふりつもる」2月や、「うちにいるのがうれしい」12月など、ねずみたちが過ごす1年を月ごとに綴った詩の絵本。ねずみたちの楽しい表情と季節の風物が柔らかな色彩で描かれる。詩人のリズムカルな言葉が、愛らしい絵をひきたてる。新版。

E
ばげばけはっば



藤本ともひこ 著
ハッピーオウル社 24P ￥1,100+税

葉っぱの中に誰かがいるよ。何が隠れているのかな？ ふーって吹いてみて！ 色鮮やかな落ち葉や木の実を集めて作ったたぬきやうさぎ、怪獣たちが次々に見つかるよ。自然が作り出した形や色を味わいながら、自由な発想で遊べる、楽しい写真絵本。

E
バナナのはなし
(かがくのとも絵本)



伊 沢 尚 子 文
及 川 賢 治 絵
福音館書店 28P ¥900+税

バナナを冷蔵庫に入れると皮が黒くなるのはなぜ？ バナナの花はどんな花？ バナナの種はどこにある？ 身近な果物なのにあまり知られていないバナナの秘密。育つ様子や食べ頃などを、明快なイラストと簡潔な文で紹介。バナナが食べたくなるような知識絵本。

E
はまべにはいしがいっぱい



レオ=レオニ 作
谷 川 俊太郎 訳
好学社 32P ¥1,500+税

浜辺には、いろいろな模様や形をした石がいっぱい。普通の石、見たこともない石。よく見ると、魚の形の石、がちょうみたいな石、数を教えてくれる石、顔の石……。モノクロで、石の丸みや影が温かく描かれ、石から広がる不思議な世界を感じさせる。新版。

E
はるをはしるえぞしか
(いきるよろこびシリーズ)



手 島 圭三郎 絵・文
絵本塾出版 31P ¥1,700+税

えぞしかは、食べ物を必死に探したり、きつねに狙われたりしながら、長く厳しい冬を乗り越える。ようやく迎えた春、子鹿は少し大人に近づいていた。季節が移りゆく中、母鹿が命がけで子鹿を守り、生き物たちが自然を生き抜くさまを、迫力ある木版画で描く。

幼児から

E
ひとりでおとまりしたよるに



フィリパ・ピアス 文
ヘレン・クレイグ 絵
さくま ゆみこ 訳
徳間書店 34P ¥1,400+税

初めて一人でおばあちゃんの家にお泊りしたエイミーは、夜になると寂しくなり、持って来た1つ目の宝物を取り出して……。3つの宝物と周りの大人に支えられ、成長していく女の子の話。幼い子どもの不安や喜びを軽快な文と柔らかな絵で描くファンタジー絵本。

E
ふしぎなボジャビのき
ーアフリカのむかしばなしー



ダイアン・ホフマイアー 再話
さくま ゆみこ 訳
ピート・フロブラー 絵
光村教育図書 25P ¥1,400+税

腹ぺこ動物たちが見つけた赤い実のなる木。でも木の名前を当てなければヘビが実をとらせてくれない。そこで順番にライオンに聞きに行くが、いつも帰りにその名前を忘れてしまって……。ユーモラスで表情豊かな絵と、繰り返しのリズムが楽しい、アフリカの昔話。

E
ぼくの手わたしの手
(すごいぞ！ぼくらのからだシリーズ)



中川 ひろたか 作
齊藤 美春 写真
保育社 25P ¥1,200+税

あそぶ手、かなでる手、つたえる手……。おもすびを作ったり、ピアノを弾いたり、ボタンをつけたりするさまざまな手を大きく写し出し、短く美しい言葉で描写。いろいろなことができる手とその持ち主を、愛情豊かに切り取った、温かなモノクロの写真絵本。

E
まちはいろんなかおがいて
(こどものとも絵本)



佐々木 マ キ 文・写真

福音館書店 28P ¥800+税

窓やマンホール、信号の押しボタンなど、何気なく目にしてしているものが、見方ひとつで表情を持ち、笑ったり、困ったり、話しかけているように見えてくる。次々に想像が広がっていき、町の顔探しがしたくなる。カメラアングルと言葉が絶妙にマッチした写真絵本。

E
まほうのコップ
(幼児絵本ふしぎなたねシリーズ)



長谷川 摂子 文
藤田 千枝 原案
川島 敏生 写真

福音館書店 24P ¥800+税

水の入ったコップの後ろに、いちごを置くと、ぐんにゃりつぶれたり、3つにふえたりする。コップの形が変わると、また違った姿に変身! 「バナナねこによよーん」など、添えられた言葉は魔法の呪文のようで楽しい。試してみたくなる、科学遊びの写真絵本。

E
みつけたよさわたたよにわのむし
(かがくのとも絵本)



澤 口 たまみ ぶん
田 中 清 代 え

福音館書店 28P ¥900+税

みなちゃんが植木鉢の下を覗いていると、お母さんがやって来た。庭にいるダンゴムシ、クモ、カナヘビなどのたくさん生き物を、一緒に観察したり触ったりしながら、みなちゃんはお母さんにその生態を教えてもらう。生き物の実物大図版が付いた科学絵本。

幼児から

E

みやこのいちにち
(こどものとも絵本)



小西英子 作

福音館書店 32P ¥800+税

都に憧れるこぎつねのこは、うまく人間に化けられず、いつも連れて行ってもらえない。ある日、じいちゃんぎつねの荷物に隠れて都に行くが、つい尻尾を出してしまう。その時男の子が助けてくれて……。貼り絵を生かした日本画風の絵で描かれ、結末も温かい。

E

ミルクこぼしちゃだめよ!



スティーヴン・デイヴィーズ 文
福本友美子 訳
クリストファー・コー 絵

ほるぷ出版 25P ¥1,500+税

山の上で働くお父さんへ、ミルクの入ったおわんを頭にのせて運ぶペンダ。砂丘を通り、川を渡り、山を登ってミルクをこぼさず届けられるかな？ オレンジと黄色を基調としたカラフルな絵で描かれ、ペンダの一生懸命さと家族の愛情が伝わる。西アフリカの物語。

E

ライオンをかくすには



ヘレン・スティーヴンズ 作
さくま ゆみこ 訳

ブロンズ新社 31P ¥1,400+税

町へ帽子を買いに来たライオンは、追われて逃げる途中、小さな女の子アイリスに出会い、家にかくまってもらう。家族に見つかって逃げ出し、隠れていると、怪しいどろぼうを見つけて……。明るくのびやかに描かれた絵が、スリルいっぱい楽しい物語を引き立てる。

幼児から

E
わたしのすてきなクリスマスツリーダーロフ・イプカー 作
やました はるお 訳
B L出版 31P ¥1,500+税

クリスマスの晩に窓の外を覗くと、もみの木のでっぺんに輝く星が1つ。そこへ熊やりすたち動物が次々に集まり、きれいに並んだら、最後は素敵なクリスマスツリーに。詩のような言葉と、生き生きと美しく魅力的な絵。厳かなクリスマスの雰囲気を感じさせる一冊。



小学校低学年から

(30 点)

E
あかいほった



ヤン・デ・キンデル 作
野坂悦子 訳
光村教育図書 31P ¥1,400+税

「へんなの、まっかだよ」。私の何気ない一言から、周りの友達がトムの赤いほったを笑うようになる。いじめを止めたいが、やめようと言えない少女の心の葛藤を描く。赤色を効果的に使用し、限られた色数で登場人物の心情を鮮明に描き出している。

E
赤ずきん
—グリムの昔話—



グリム 原作
大塚勇三 訳
フェリクス・ホフマン 画
福音館書店 31P ¥1,400+税

赤いずきんの女の子が、森のおばあさんの家へお使いに行き、狼に食べられてしまうという、おなじみの昔話。グリム絵本に定評のある画家が孫娘のために描いた遺稿を基に、再構成し絵本化された。風格と緊張感のある絵が物語の世界をよく表す。

低学年（1・2年）から

E
イソップのおはなし



バーバラ・マクリントック 再話・絵
福本友美子 訳
岩波書店 48P ￥1,300+税

いじわるなキツネと知恵者のツルとのやり取りが楽しい「キツネとツル」など、イソップのお話9編を収録。簡潔な文章と、緻密な線に落ち着いた色味を加えた絵で描く。19世紀風の衣装を身にまとった登場人物たちが、芝居仕立てで寓話の世界を愉快に表現する。

E
エディのごちそうづくり



サラ ガーランド さく
まきふみえ やく
福音館書店 36P ￥1,400+税

祖父の誕生会のごちそうを作るママを、エディは妹のリリーと一緒にお手伝い。でも、電話はかかるし、妹は材料でベタベタ。約束の時刻に間に合うの？絵は、やさしいタッチで遊び心いっぱい。子どもの気持ちを大切に作るママと満足げな子どもたちを温かく描く。

E
おいっちにおいっちに



トミー・デ・パオラ 作
みらいなな 訳
童話屋 45P ￥1,500+税

ボビーが幼い頃、歩き方を教え、一緒に遊んでくれた祖父は、ある日脳の病気で入院する。体が不自由になってしまった祖父に、今度はボビーが歩き方を教え、語りかける。祖父の回復とともに人物の表情も明るく描かれ、二人の温かい交流が心に残る。改題新訳版。

低学年（1・2年）から

E
かあさんふくろう



イーディス・サッチャー・ハード 作
おびか ゆうこ 訳
クレメント・ハード 絵
偕成社 31P ￥1,100+税

かあさんふくろうが、リンゴの木の巣穴で卵を温めている。とうさんふくろうと共に、ふ化した雛たちを一人前に育てるようすを軸に、フクロウの生態を語感よく平明に伝える。フクロウの姿態や表情、周囲の空や草木などの自然を、2色の木版画で美しく描写する。

E
くぎになったソロモン



ウィリアム・スタイグ 作
おがわ えつこ 訳
セーラー出版 32P ￥1,500+税

くぎに変身できるようになった子ウサギのソロモンは、得意になっていたずらばかり。そんなある日、くぎの姿のままネコにつかまって家の壁板に打ち付けられ、絶体絶命の大ピンチ！ 優しい色使いの絵で、登場人物をコミカルでとぼけた表情に描く。改訳版。

E
くつがいく
(日・中・韓平和絵本)



和歌山 静子 作
童心社 36P ￥1,300+税

ざっざっざっ……と勇ましい姿の靴が戦場で次第にボロボロになっていく様子を、茶を基調とした絵で描く。兵隊たちが履いていた靴の目線で、戦争の悲惨さ残酷さを伝える。「わたしの みにいに せんそうは いらぬ」という次世代へのメッセージで締めくくる。

低学年（1・2年）から

E
くまさんのおたすけえんぴつ



アンソニー・ブラウン さく
さくま ゆみこ やく
B L 出版 24P ¥1,300+税

くまさんがジャングルを散歩していたら、ハンターに狙われた！ハンターは、あの手この手で襲ってくる。でも、魔法の鉛筆を使えば、あら不思議、危機を脱して……。隠し絵やだまし絵を多用したカラフルな画面は、異空間を覗くようなおもしろさ。改題新訳版。

E
ごきげんなライオン
おくさんにんきものになる



ルイズ・ファティオ 文
今江 祥智 訳
遠藤 育枝 訳
ロジャー・デュボアザン 絵
B L 出版 32P ¥1,300+税

ライオンくんが入院し、残った奥さんにはたてがみがなくて見物人はがっかり。でも鳥たちが草や花で作ったたてがみをつけて変身すると動物園で大人気！そこへライオンくんが退院してきて——。ライオン夫妻の絆を色彩豊かな絵で温かく、ユーモラスに描く。

E
サンタさんのトナカイ



ジャン・ブレット 作・絵
さいごう ようこ 訳
徳間書店 32P ¥1,500+税

北極に住む少女ティーカは、サンタさんにトナカイの世話を初めて任される。張り切って空を飛ぶ練習を始めるが、8頭の足並みは揃わない。クリスマスイブに間に合うのか……。登場人物のしぐさや表情の変化を繊細なタッチで美しく描く。飾り枠の絵も楽しい。

低学年（1・2年）から

E

ジャックと豆の木
(世界傑作絵本シリーズ)



ジョン・シェリー 再話・絵
おびか ゆうこ 訳
福音館書店 44P ¥1,400+税

ジャックがめ牛と引き換えに手に入れた豆は、天まで届く豆の木になる。どんどん登ると、人食い鬼が住むお城のような家があった。ジャックは、人食い鬼の眠る間に宝物を盗み出そうとする。細部まで描き込まれた絵が楽しく、大胆な構図も魅力的なイギリスの昔話。

E

小さなたね



ボニー・クリステンセン 絵と文
渋谷 弘子 訳
さ・え・ら書房 32P ¥1,400+税

春、2人の子どもが、菜園に何種類もの種をまいた。夏から秋へと成長を観察し世話をし、待ちに待った収穫を迎え味わうまでを描く。リズムカルな文と温かい色使いの力強い絵が、小さな種を大きく育てていく楽しさや、自然への讃歌を生き生きと伝える絵本。

E

小さなミンディの大かつやく



エリック・A・キメル 文
福本 友美子 訳
バーバラ・マクリントック 絵
ほるぷ出版 32P ¥1,500+税

ユダヤ教の教会堂で家族と暮らす小人の少女ミンディ。お祭りの準備のためにろうそくを取りに出かけるが、ネコに襲われ絶体絶命！助けに来てくれたのは……。小さなミンディが家族のために頑張る姿を緻密な絵で描く。ユダヤの風習や文化も興味深い。

E
チャーリーのはじめてのよる



エイミー・ヘスト ぶん
さくま ゆみこ やく
ヘレン・オクセンバリー え
岩崎書店 32P ￥1,300+税

ヘンリーは、雪の日に連れ帰った子犬にチャーリーと名付け、世話をすることになった。両親は台所で寝かせると決めたが、ヘンリーは子犬が寂しくないか心配し、真夜中に何度も鳴く子犬に寄り添う。少年と子犬の心温まる友情の始まりを、優しい色使いで表現。

E
とけいのあおくん
(こどものとも絵本)



エリザベス・ロバーツ さく
灰島 かり やく
殿内 真帆 え
福音館書店 32P ￥800+税

あおくんは青色の小さい目覚まし時計。誰かに買われる日を心待ちにしていたところ、来店した親子がパパへの贈り物として、あおくんを買って帰る。喜びも束の間、きちんとベルを鳴らせるか心配になり……。あおくんの心の動きを、ポップな色調の絵で生き生きと描く。

E
ニブルとたいせつなきのみ



ジーン・ジオン ぶん
ひがし ちから やく
マーガレット・プロイ・グレアム え
ブリケン出版 40P ￥1,500+税

りすのぼうやのニブルは、見知らぬりすM・Oに、大切なごちそうの木の実を全部取り上げられてしまう。がっかりしたニブルだったが、思わぬ場所で再会したM・Oに勇気を出して対峙する。茶と緑の2色使いで描かれた絵は温かく、遊び心いっぱい。

低学年（1・2年）から

E
ネコがすきな船長のおはなし



インガ・ムーア 作・絵
た が きょうこ 訳
徳間書店 47P ￥1,800+税

猫好きの船長の船には沢山の猫が乗っていた。ある時、旅に出た船長は小さな女王様が治める島にたどり着く。猫が1匹もおらず、島じゅうネズミだらけで困っていた女王様は宝石の山と猫たちの交換を願い出て……。細部まで描き込んだ絵も見応えのある絵本。

E
むらの英雄
—エチオピアのむかしばなし—



わたなべ しげお 文
にしむら しげお 絵
瑞雲舎 29P ￥1,400+税

袋を担いで村へ帰る12人の男たち。人数を数えてみると、1人いない？ 足りない1人を巡り語り合ううち次々と広がっていく妄想をユーモラスに描く。アフリカの大地を思わせる茶を基調とした色使いと、躍動感溢れる絵が印象的なエチオピアの昔話。新装版。

E
わたしのすてきなたびする目



ジェニー・スー・コステキ=ショー さく
美 馬 しょうこ やく
偕成社 38P ￥1,600+税

ジェニー・スーの左目は斜視で、内や外に向いてしまう。「たびする目」と愛称をつけ、受け入れていたが、ついに治療することになる。女の子が病気と向き合う姿を描きながら、斜視と弱視について分かりやすく紹介。コラージュを取り入れたカラフルな絵が楽しい。

913 あ
みどりのスキップ
(安房直子名作絵童話)



安房直子作
出久根育絵
偕成社 47P ￥1,200+税

みみずくは、満開の桜の下で出会った花かげちゃんに心惹かれる。花が散ったら消えるという桜の精を守るために、夜も昼も寝ないで見張りを続けるが、「トット トット」という足音がして……。春から初夏への季節の移ろいを、美しい文章と淡い色彩で描く物語。

913 く
あひるの手紙
(おはなしみつけた！シリーズ)



朽木祥作
ささめやゆき絵
佼成出版社 64P ￥1,200+税

「あひる」とだけ書かれたふしぎな手紙。受け取ったほんまち小学校の1年生たちが、みんなで相談して出した返事は「るびー」。平仮名を覚えてたての青年、けんいちさんと子どもたちとの文通を通した温かい交流を描く。手紙に書き添えられた絵もほほえましい。

913 も
一さつのおくりもの
(どうわがいっぱい 90)



森山京作
嶋下潤絵
講談社 78P ￥1,100+税

クマのクマタは1年生の男の子。ある日、山のむこうの村で水害が起こり、被災した子たちへ自分の本を送ることになる。でも、汚れていないきれいな絵本はクマタの大好きな『かいがらのおくりもの』しかなくて……。互いを思いやる優しい気持ちが詰まった物語。

低学年（1・2年）から

913 は
ちょっとだけタイムスリップ
（とっておきのどうわ）



花田 鳩子 作
福田 岩緒 絵
PHP研究所 79P ¥1,100+税

小学2年生のゆうとは、夏休みにハワイへ行ったと友達に嘘をついてしまう。「まずい！」と後悔し、タイムスリップして嘘をつく前に戻りたいと願う。先生や級友に助けられ、少年が勇気を振り絞って告白するまでの心の変化を、表情豊かな挿絵と共に描く物語。

933 あ
アンナのうちはいつもにぎやか
—アンナ・ハイビスカスのお話—



アティヌーケ 作
ローレン・トビア 絵
永瀬 比奈 訳
徳間書店 158P ¥1,300+税

アンナはアフリカの大きな町に住む女の子。米国から帰ってくるおばさんを迎える話など、大家族とにぎやかに暮らすアンナの日常を温かく描く。作者はナイジェリア出身で、現地の昔ながらの生活文化に触れることができる。豊富な挿絵も明るく楽しい4編の物語。

933 し
にげだしたファンクをさがせ！
（ほくはめいたんてい）



マージョリー・W・シャーマット ぶん
小宮 由 やく
マーク・シーモント え
大日本図書 64P ¥1,200+税

犬のファンクの行方探しを頼まれたネート少年が、事件解決のヒント「ナゾときポイント」を示しながら、犬の居場所を突き止めていく。名探偵ホームズ張りの装いなど、伸びやかで生き生きした絵も楽しい読み物。「ほくはめいたんてい」新シリーズの1冊。

低学年（1・2年）から

933 す
やさしい大おとこ

ルイス・スロボドキン 作・絵
こみや ゆ う 訳
徳間書店 62P ￥1,700+税

山のでっぺんに住む大男は、ふもとの村人と友達になりたいと思い、度々村を訪れていた。しかし悪い魔法使いのせいで、村人は大男を怖がり、家の中へ隠れてしまう。ある日、一人の女の子が大男の優しさに気付き……。柔らかな色彩の挿絵が入った温かい物語。

933 ほ
ねずみのオスカーとはるのおくりもの

リリアン・ホーバン 作
みはら いずみ 訳
のら書店 55P ￥1,300+税

寒い冬、子ねずみのオスカーは行方不明になった父さんの分まで食べ物探しに大忙し。春に生まれる赤ちゃんの準備に奔走する中、猫に襲われ窮地に立たされたオスカーに思わぬ助っ人が現れる。家族への深い思いやりを感じさせる物語を、素朴な絵とともに描く。

933 ろ
テディ・ロビンソンのたんじょう日

ジョン・G・ロビンソン 作・絵
小 宮 由 訳
岩波書店 173P ￥1,500+税

テディ・ロビンソンは、女の子デボラのくまのぬいぐるみ。誕生会でお茶目に振る舞うテディと、生真面目に応じるデボラの姿がユーモラスな表題作ほか、大の仲良しの二人の日常を想像力豊かに綴る短編集。やわらかい描線の挿絵も心温まる。全3冊のシリーズ。

低学年（1・2年）から

943 ろ

ライオンがいないどうぶつ園



フレート・ロドリアン 作
ヴェルナー・クレムケ 絵
たかはし ふみこ 訳

徳間書店 65P ￥1,600+税

町長さんの発案で作られた動物園には、ライオンがいなかった。ライオンを見たいビーネとウリは、町中の子どもの協力で資金を集め、一頭送ってほしいとアフリカに手紙を出す……。夢に向かって進む子どもたちと町長さんの奮闘を、楽しく描くドイツの物語。



小学校中学年から

(30 点)

E
ありがとう、チュウ先生
—わたしが絵かきになったわけ—



パトリシア・ポラッコ 作
さくま ゆみこ 訳
岩崎書店 40P ￥1,400+税

勉強はできるのに字を読むのが遅く、いつもテストで不合格になってしまうパトリシア。担任の勧めでチュウ先生の美術教室に通い始めた彼女は、熱心に取り組み絵の才能を伸ばす。作者自身の体験を基にした絵本。豊かな色彩で生き生きと描かれた絵が印象的。

E
犬になった王子
—チベットの民話—



君 島 久 子 文
後 藤 仁 絵
岩波書店 48P ￥1,800+税

勇敢で心優しい王子アチョは、穀物の種を手に入れるため旅に出る。数々の試練に遭いながらも種を手にしたが、蛇王ヘビによって姿を犬に変えられてしまう。旅を続けた王子は、ゴマンという名の娘に出会い……。現地を訪れた画家が日本画で丹念に描いた絵も美しい。

中学年（3・4年）から

E
風をつかまえたウィリアム



ウィリアム・カムクワンバ 文
プライアン・ミーラー 文
さくま ゆみこ 訳
エリザベス・ズーノン 絵
さ・え・ら書房 29P ¥1,400+税

アフリカのマラウィに住む少年ウィリアムは、飢饉の影響で学校に通えなくなる。失意の中図書館へ行った彼は、風力発電の本と出会い、ガラクタから風車をつくり、発電に成功する。自らの力で人生を切り開く少年の実話を、貼り絵を使った独特の絵とともに描く。

E
神々の母に捧げる詩
—続 アメリカ・インディアン詩—



金 関 寿 夫 訳
秋 野 亥左牟 絵
福音館書店 48P ¥1,600+税

「おれは空のうえを 歩いている 鳥に おれはついてゆく」。この「夢の歌」の他、鷲や雷神、夜などをうたうネイティブアメリカンの口承詩が16篇。自然と共に生きた人々の思いが、素朴なおおらかにつづられる。詩を引き立てる力強く神秘的な絵も心に残る。

E
ガリバーの冒険



ジョナサン・スウィフト 原作
井上 ひさし 文
安野 光雅 絵
文藝春秋 30P ¥1,250+税

大あらしに見舞われたガリバーがたどり着いたのは、小人の国。そこでは、トンネル工を手伝ったり、敵をやっつけたりと大活躍するが……。リズムカルな文と遊び心満載の水彩画がマッチしていて楽しい。1969年刊行の『ガリバー』の絵を全面的に描き直し出版。

E
くまの皮をきた男
—グリムの昔話—



グリム 作
佐々梨代子 訳
野村 洵 訳
フェリクス・ホフマン 絵
こぐま社 32P ￥1,400+税

若者の前に現れた悪魔は、7年間体を洗わずくまの皮を着たまま生き残れば、自由とお金を与えると告げる。化け物同然の姿になりながら旅を続けた若者は、ある老人を助け末娘と結婚の約束をする。線に淡い色味を加えた味わい深い絵が、グリムの世界を引き立てる。

E
さくら
(日・中・韓平和絵本)



田畑精一 作
童心社 39P ￥1,600+税

さくらの花さく3月、「ぼく」は生まれ、家族は幸せに包まれた。でもその年、中国との戦争が始まり、大勢の人が「さくらの花のように、美しくちれ」と命を落とす。少年の目線で書かれた文と線画に落ち着いた色彩を加えた絵で、戦争がもたらす悲惨さを伝える。

E
さみしかった本



ケイト・バーンハイマー 文
福本友美子 訳
クリス・シーバン 絵
岩崎書店 32P ￥1,500+税

アリスは図書館で見つけた一冊の古い本が大好きになるが、その本はセールに出すため地下室にしまわれる。アリスは毎週本を探しに行くが見つげられない。ある日、本のセールが開かれて——。特別な一冊を大事に思う女の子の姿を、やわらかなタッチの絵で描く。

中学年（3・4年）から

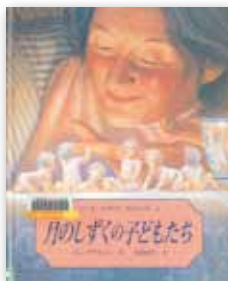
E
ジェドおじさんはとこやさん



マーガリー・キング・ミッチェル 作
渋谷 弘子 訳
ジェームズ・ランサム 絵
汐文社 32P ¥1,600+税

床屋のジェドおじさんは、立派な設備を整えた店を持つという夢を抱き続けていた。ところがお金を預けていた銀行が倒産してしまう。黒人差別を背景に、困難に屈せず夢に向かい実直に生きる男性の姿を、秋の風景を基調とした温かみのある絵とともに描く。

E
月のしずくの子どもたち



ローラ・クラウス・メルメッド 文
灰島 かり 訳
ジム・ラマルシェ 絵
BL出版 32P ¥1,500+税

満月の夜、子どもがいない夫婦のもとに現れた親指ほどの小さな12人の赤ちゃん。夫婦は大切に育て、様々な危険から子どもたちを守る。ある晩、夫婦の家に見知らぬ若者が訪ねてきて……。細やかで表情豊かな絵が、物語を優しく彩る。幸せな結末に心が温まる。

E
図書館に児童室ができた日
—アン・キャロル・ムーアのものごとたり—



ジャン・ピンボロー 文
デビー・アトウェル 絵
張 替 恵 子 訳
徳間書店 41P ¥1,600+税

19世紀末の米国では、子どもは図書館に自由に入れなかった。児童室を初めて作ったニューヨークの図書館で働き始めたアンは、子どもが楽しく自由に本を読めるように力をつくした。明るい色彩の絵からアンの前向きな生き方が伝わる。実話に基づいた伝記絵本。

中学年（3・4年）から

E
なみだでくずれた万里の長城
—中国の民話—



唐 亜 明 文
蔡 皋 絵
岩波書店 48P ￥1,800+税

ひょうたんから生まれた^{もろきょうじよ}孟姜女は、万里の長城建設のため役人に連れていかれた夫を探しに行く。たどり着いた長城で夫の死を知り、同じ運命の人々を思い涙を流すと万里の長城が崩れていく。民話にこめられた人々の悲しみを渋味のある色調の絵で丁寧に描き出す。

小学校
中学年
から

E
パオアルのキツネたいじ



蒲 松齡 原作
心 怡 再話
蔡 皋 絵
中 由美子 訳
徳間書店 29P ￥1,400+税

母に取り付いた化けギツネを退治するため知恵を絞ったパオアルは、仲間と見せかけギツネに近づき毒入りの酒を渡す。聡明で勇気ある少年の痛快な話。時代の雰囲気伝える絵も、黒と赤が印象深く魅力的。原作は中国の怪奇小説集『聊齋志異』の中の「商人の子」。

E
105にんのすてきなしごと



カーラ・カスキン 文
なかがわ ちひろ 訳
マーク・シーモント 絵
あすなる書房 42P ￥1,300+税

金曜日の夕方、男の人が92人、女の人が13人、仕事に行く用意を始める。白と黒の洋服をそれぞれ身につけ、向かった先は街の中のホール。105人は心を一つに合わせて美しい音楽を作り上げる。個性豊かに描かれた人物は想像する楽しさを掻き立てる。改題新版。

中学年（3・4年）から

E
リーかあさまのはなし
ーハンセン病の人たちと生きた草津のコンウォール・リー
(ポプラ社の絵本 21)



中 村 茂 文
小 林 豊 絵
斎 藤 千 代 構成
ポプラ社 32P ¥1,400+税

約100年前、草津町にハンセン病の人々が暮らしていた。英国人宣教師リー女史は、病による差別や偏見に悩む人々の声を聞き、教会や病院を建て長年にわたり献身的に尽くす。丁寧な絵で当時の様子を誠実に表現。人々に慕われた女性の生き方を描く伝記絵本。

160 ひ
はじめての北欧神話



菱 木 晃 子 文
ナカムラ ジン 絵
徳間書店 157P ¥1,300+税

3兄弟の神々は巨人ユミルを倒し、その肉から大地を、血から海や川をつくる。一番年上のオージンが世界を治め、やがて神々一族は巨人族との最後の戦いに挑む。北欧の厳しい自然に育まれた力強い神話を、おもしろいエピソードを中心にわかりやすく伝える。

913 お
願いのかなうまがり角



岡 田 淳 作
田 中 六 大 絵
偕成社 123P ¥1,000+税

おじいちゃんは若い時、空を飛ぶたいと願いながら角を曲がった。すると本当に願いが叶い——(「願いのかなうまがり角」)。このほか、おじいちゃんが小学3年生の孫に語る奇想天外で愉快なお話6編を収めた短編集。祖父と孫の軽快な関西弁の会話も楽しい。

913 み
夜明けの落語
(講談社文学の扉)



みうら かれん 作
大 島 妙 子 絵
講談社 229P ￥1,300+税

4年生の暁音^{あかね}は人前で話すのが大の苦手。日直で「5分間スピーチ」をするのが怖くて仕方ない。そんな彼女の代わりに三島君が落語を披露して助けてくれた。苦手を克服するために落語に挑戦することにした暁音の成長と、周囲の温かい関わりを爽やかに描く。

913 み
子どもに語る日本の神話



三 浦 佑 之 訳
茨 木 啓 子 再読
山 崎 香 文 子 挿絵
こぐま社 194P ￥1,600+税

日本古来の歴史書「古事記」より、魅力ある話を厳選した神話集。「国のはじまり」、「スサノオとヤマタノオロチ」、「ヤマトタケル」など10編。古代の様々な神の冒険、恋愛、兄弟間の競争など不思議で楽しい物語。冒頭の神話についての説明が理解を助ける。

933 う
ハンナの学校
(文研ブックランド)



グロリア・ウィーラン 作
中 家 多 恵 子 訳
スギヤマ カナヨ 絵
文研出版 111P ￥1,200+税

ハンナは目が見えない9歳の女の子。両親は学校へ行く必要はないと思っていたが、新しく家に来たロビン先生の働きかけで初めて学校に行けることになる。自立に向かって少しずつ踏み出し世界を広げていくハンナと、それを支える人々の温かく希望に満ちた物語。

中学年（3・4年）から

933 し
アーヤと魔女



ダイアナ・ウィン・ジョーンズ 作
田中 薫子 訳
佐竹 美保 絵
徳間書店 123P ￥1,700+税

身よりのない子が住む家で育ったアーヤは、何かをこわいと思ったことのないとても強い女の子。ある日魔女の家に引きとられ、こき使われてうんざり。そこで、黒猫トーマスと作戦をたてた。何事にもめげない少女の姿が痛快。挿絵もコミカルで楽しい。著者の遺作。

933 す
かわいいゴキブリのおんなの子メイベルのぼうけん
(世界傑作童話シリーズ)



ケイティ・スペック 作
おびか ゆうこ 訳
大野 八生 画
福音館書店 157P ￥1,500+税

ゴキブリの女の子メイベルの夢は、食べこぼしでなくお皿にのったごちそうを食べること。ある時、匂いに誘われスープのうつわに落ちてしまう。元気いっぱいゴキブリと仲間のノミが、ごちそうを求めて次々と大騒動をまきおこす楽しい物語。挿絵もユーモラス。

933 そ
クリスマスのりんご
—クリスマスをめぐる九つのお話—
(世界傑作童話シリーズ)



ルース・ソーヤー (ほか) 文
上 條 由美子 編・訳
たかお ゆうこ 絵
福音館書店 195P ￥1,500+税

両親の手違いで2本届いてしまったクリスマスツリー。動物たちを幸せにするため納屋にもツリーを立てようと考えたジョニーは、それぞれの動物が喜ぶ食べ物をツリーに飾る（「納屋のクリスマス」）。この他、クリスマスにまつわる美しく心温まる8つの短編を収録。

933 ね
メリサンド姫
一むてきの算数！—
(おはなしメリーゴーラウンド)



E・ネズビット 作
灰鳥 かり 訳
高桑 幸次 絵
小峰書店 93P ￥1,300+税

妖精の呪いで髪が生えないメリサンド姫。魔法の小箱のお陰で金色の髪が生えたが、毎日3センチ伸び、切るたびに倍の速さで伸びてしまう。算数や有名な童話の要素を散りばめた、心優しい姫と、知恵と勇気がある王子の楽しい話。随所にある挿絵も理解を助ける。

933 ま
うちはお人形の修理屋さん



ヨナ・ゼルディス・マクドノー 作
おびか ゆうこ 訳
杉浦 さやか 絵
徳間書店 204P ￥1,400+税

人形遊びが大好きな三姉妹の家は、壊れた人形の修理屋さん。だが、欧州で戦争が始まり人形の材料が手に入らず仕事が続けられなくなる。そこで次女のアナが考え出した妙案とは……。約100年前のニューヨークを舞台に、困難を乗り越えていく家族の姿を描く。

933 ま
犬のことばが聞こえたら



パトリシア・マクラクラン 作
こだま ともこ 訳
大庭 賢哉 絵
徳間書店 190P ￥1,500+税

ウィリアム兄妹のパパが家出した。怒ったママが決めたのは、犬4匹と猫1匹を飼うこと。次第に家族は犬の会話が分かるように！ 犬たちと本音で話すうち、家族は互いに心を開いていく。壊れかけていた家庭が再び一つになっていく様子を描いた、心温まる物語。

中学年（3・4年）から

943 ふ
かかしのトーマス



オトフリート・プロイスラー 作
吉田 孝夫 訳
ヘルベルト・ホルツィング 絵
さ・え・ら書房 102P ¥1,200+税

ある春の日、畑に立てられたかかしのトーマス。動植物や月など自然の声を理解し、多くのことを学び取った彼は、やがて自由に動き旅に出たいと思うようになる。トーマスの心の動きが、季節の移ろいとともにより巧みに表現されている。ドイツの風土を感じる一冊。

943 ろ
リンゴの木の上のおばあさん
(岩波少年文庫 217)



ミラ・ローベ 作
塩谷 太郎 訳
岩波書店 201P ¥640+税

祖母がいる友だちを羨ましく思っていたアンディ。リンゴの木の上で不思議なおばあさんと出会い、一緒にスポーツカーを運転したり、野馬狩りをしたりと大冒険をするが……。空想の世界を楽しみながら、現実にも向き合っていく男子の成長を明るく描く。再刊。

949 し
パン屋のこびととハリネズミ
—ふしぎな11のおとぎ話—



アニー・M・G・シュミット 作
西村 由美 訳
たちもと みちこ 絵
徳間書店 206P ¥1,400+税

パン屋のトリップさんに罵られ機嫌を損ねた小人たちは、パン生地を全部ハリネズミに変えてしまう（「パン屋のこびととハリネズミ」）。この他、「ぶつくさ屋」、「裁判長と魔法のぼうし」など、オランダの作家による、全部で11の不思議で愉快な話を収録。挿絵も楽しい。

中学年（3・4年）から

949 り
エーミルとクリスマスのごちそう
(岩波少年文庫 211)



アストリッド・リンドグレーン 作
石井登志子 訳
岩波書店 219P ¥640+税

スウェーデンの農場に住むエーミルはいたずらっ子。悪気はないのにいつも騒動を起こし、木工小屋に閉じ込められる。ある日救貧小屋で虐げられているお年寄り達を自宅に招待し、お客様用のご馳走を振舞ってしまう。痛快で楽しい男の子のエピソードを3つ収録。

小学校
中学校
から



小学校高学年から

(28 点)

E
お船がきた日
—淀川ものがたり—



小林 豊文・絵

岩波書店 44P ￥1,600+税

からくに
唐国の使節団の船が30年ぶりに大坂にやってきました。拍手と歓声に包まれて淀川をのぼる船行列。川沿いで見物をしていた少年トメと市は、夢中になって船について行く。江戸時代の朝鮮通信使を題材に、彼らを歓迎する庶民との交流を温かい色使いの絵で描いた作品。

E
はだかのサイ



ミヒヤエル・エンデ 作
佐々木 田鶴子 訳
ヨッヘン・シュトゥアマン 絵

フレーベル館 34P ￥1,300+税

鉄板のような皮をもつドラサイは暴力的で他の動物たちの脅威。ある時支配者には銅像が必要だと「モロカ」され、結局自らが像になり満足していたが——。読み手に多様な解釈を促す、哲学的で重厚な作品。軽妙な文章と個性際立つ橙色基調の絵が親しみ易い。新装新訳版。

E
マッチ箱日記



ポール・フライシュマン 文
島 式子 訳
島 玲子 訳
バグラム・イバトゥーリン 絵
BL出版 38P ￥1,600+税

読み書きのできなかった曾祖父は日記代わりに思い出のものをマッチ箱にためていた。オリーブの種は貧困のイタリア時代を、魚の骨は米国移住後の初仕事を思い起こさせる。ひ孫との会話のみで語られる曾祖父の人生。セピア色と彩色の絵で時間軸を表現している。

E
マリアンは歌う



パム・ムニョス・ライアン 文
もりうち すみこ 訳
ブライアン・セルズニック 絵
光村教育図書 39P ￥1,600+税

幼い頃から歌うことが好きで優れた才能を持つマリアンは、聖歌隊の隊員を経て歌手となる。黒人という理由で様々な差別を受けるが、心のこもった彼女の歌声は、人々の心をつかんでいく。世界的に活躍した実在の米国人歌手の半生を、茶色が基調の重厚な絵で描く。

911 う
しっぽとおっぼ
一内田麟太郎詩集一



内 田 麟太郎 著
岩崎書店 103P ￥1,200+税

「いっばいいたから こころがはれました きっとそうだったんだろう あめあがりの にじよ」(「なみだ」)。このほか、母への思いをうたった詩、ユーモラスな詩、言葉遊びの詩など全40篇を収めた詩集。著者自身が描いたシンプルな線画の挿絵も楽しめる。

高学年（5・6年）から

913 い
よるの美容院



市川 朔久子 著

講談社 229P ￥1,300+税

同級生の交通事故が元で声を失った6年生のまゆ子は、親元から離れ親戚の美容院に預けられる。店休日前の夜ごとに髪を洗ってもらううちに、彼女の心は徐々に解きほぐされていく。家族や周囲の思いの中で少しずつ成長する思春期の姿を、ユーモアを交えて描く。

913 い
切り株ものがたり
(福音館創作童話シリーズ)



今井 恭子 作
吉本 宗 画

福音館書店 157P ￥1,200+税

7歳の修一は、ある日山の民と交易できる秘密の場・切り株へ行く。そこへ置いた姉の人形が原因で山の民の娘を傷つけた彼は、償いのため人形師になると決意する。豊かな自然と山への畏怖が残る大正後期の中国地方を舞台に、真摯に人生と向き合う少年の物語。

913 お
ストグレ!



小川 智子 著

講談社 255P ￥1,400+税

5年生の光希^{みつぎ}は空手少女。引っ越し先の道場の師範はやる気がなく、道場生も皆悩みを抱えている。学校でも孤立する光希だが、負けてたまるかの「ストグレ魂」で乗り越えていく。光希を支える家族の姿と、今の子どもを取り巻く様々な問題を、軽快な文章で描く。

高学年（5・6年）から

913 か
竜が呼んだ娘



柏葉 幸子 作
佐竹 美保 絵
朝日学生新聞社 232P ¥1,200+税

深い谷にある「罪人の村」では、竜に呼ばれた10歳の子どもだけが村から出ることができる。思いもよらず竜に呼ばれ王宮で働くことになったミアは、竜騎士の呪いを解く使命を与えられる。ひ弱な少女が外の世界を知り、成長していく姿を描く冒険ファンタジー。

913 こ
ブルースマンと小学生
(ティーンズ文学館)



こうだ ゆうこ 作
スカイエマ 絵
学研教育出版 155P ¥1,300+税

学校で何かと問題を起こす6年生の鉄平。大好きな野球も、経済的な理由でチームには入れず、やり場のない思いを抱える彼は不登校に。公園で赤い髪のギター弾きの兄ちゃんとの出会い、その前向きな姿に最初は反発するが……。葛藤の中から希望を見出す少年を描く。

913 ほ
林業少年



堀 米 薫 作
スカイエマ 絵
新日本出版社 189P ¥1,500+税

喜樹^{きじゆ}は林業一家の跡取りの5年生。祖父にあこがれ、家業に興味を持ち始める。また姉の楓は林業を厭う母の思いに反して、突然農学部を受験を宣言する。現在の林業が直面する問題と、それを乗り越え新しい時代を創ろうとする次世代の姿を、明るく爽やかに綴る。

小学校高学年から

高学年（5・6年）から

913 む
チャーシューの月
(Green Books)



村 中 李 衣 作
佐 藤 真 紀 子 絵
小峰書店 222P ￥1,500+税

6年生の美香が暮らす児童養護施設にやってきた6歳の明希。意思疎通が苦手だが見たものを正確に記憶出来る明希には、家族の記憶が辛いものになっていた。大人の都合に翻弄されながらも施設で逞しく生きる子どもたちの姿を、美香の視点から丁寧に綴る。

913 わ
希望への扉リロダ



渡 辺 有 理 子 作
小 渕 も も 絵
アリス館 151P ￥1,300+税

内戦でタイにある難民キャンプに移住したミャンマーの少数民族の少女マナポ。高校卒業後キャンプ初のリロダ(図書館)の図書館員となり喜んで働いていたが、ある年川の氾濫でリロダが流され……。実話を基に、困難に遭いながらも本を希望とする人々の姿を描く。

929 し
エルヒー・メルゲンと七つの太陽
—モンゴルのいつたえ集—



塩 谷 茂 樹 編訳
Y a ・バダムハンド コラム執筆
春風社 161P ￥1,600+税

昔、この世に7つの太陽がのぼり、干ばつとなった。人々は、弓の達人エルヒー・メルゲンに、太陽を射落とすよう頼む。この表題作など、モンゴルの昔話10編と、モンゴルの文字やことわざ、なぞなぞ等を紹介したコラムを掲載する。遊牧民の文化が伝わる一冊。

933 い
スターリンの鼻が落ちた



ユージン・イェルチン 作・絵
若林千鶴 訳
岩波書店 159P ￥1,500+税

スターリン政権下のソ連。共産主義者を目指す10歳のサーシャは、父の逮捕と凶らずも壊してしまったスターリン像の鼻が原因で人生が一変した。無実でも肅清され相互不信が渦巻く中で彼は……。当時社会に内在した思想統制の恐怖に子ども目線で向き合う作品。

933 う
名前をうばわれた少女
—わたしはエファじゃない—



ジョアン・M・ウルフ 作
日当陽子 訳
朝倉めぐみ 絵
フレール館 209P ￥1,400+税

1942年ナチ占領下のチェコスロバキア。11歳のミラダは、奇妙な身体検査の後家族から引き離されて、ある施設に連行される。そこでドイツ人の名前を与えられ、ナチの精神を叩き込まれながらも、自己を見失うまいとあがく。実際にあったドイツ人化計画を基に創作。

933 え
ふしぎな八つのおとぎばなし



ジョン・エイキン 文
こだまともこ 訳
クエンティン・ブレイク 絵
富山房 187P ￥1,900+税

日曜日ごとにピンクの蛇に変わってしまう呪いにかけられた女の子が王様と結婚する話や、宇宙のサッカーの話など、怪奇幻想、SFと様々なジャンル8編の短編集。どの話も奇妙な味わいで、不思議な余韻を残す。色彩豊かな挿画が、その世界に深みを加える。

高学年（5・6年）から

933 し
駅の小さな野良ネコ



ジーン・クレイグヘッド・ジョージ 作
斎藤 倫子 訳
鈴木 まもる 絵
徳間書店 243P ￥1,500+税

心ない飼い主に捨てられ、駅前の空き地で暮らしはじめたメスのトラネコ。親を亡くした少年マイクは、このネコを飼いたいと願うが……。少年と、少年を警戒しながらも惹かれていくネコの心の絆を、双方の視点から綴る。野生動物の生態が克明に描写されている。

933 て
あたしがおうちに帰る旅



ニコラ・デイビス 作
代田 亜香子 訳
小学館 189P ￥1,400+税

ペットショップで暮らす身元不明の少女イヌは声が出せない。ある日喋るオウムのカルロスと共に店主の虐待から逃げる。多くの人々に助けられ懐かしさを覚える南米を目指す。仲間に導かれアイデンティティを取り戻す少女とその心情を丁寧な筆致で清々しく描く。

933 ふ
海辺の宝もの



ヘレン・ブッシュ 著
鳥見 真生 訳
あすなる書房 231P ￥1,500+税

11歳のメアリーの唯一の楽しみは、父と兄と海辺で変わり石（化石）集めをすること。父の死後、化石採集と販売で家計を助けていたが、ある日特大のワニのような骨を見つける。19世紀の英国で、古代生物の化石を発見した実在の人物の少女時代を描く。改題新訳。

933 も
ゾウと旅した戦争の冬



マイケル・モーパールゴ 作
杉田七重 訳
徳間書店 205P ￥1,500+税

老人ホームの入所者リジーは語る——
1945年2月ドレスデン。飼育員の母が
子ゾウを伴い一家で爆撃から逃れた先
には敵兵が。共に生き残るため彼と協
同して米軍基地を目指す。逼迫した状
況下でも人間味を失わない人々を中心
に、戦争の記憶を次世代に手渡す一作。

933 も
発電所のねむるまち



マイケル・モーパールゴ 作
杉田七重 訳
ピーター・ベイラー 絵
あかね書房 85P ￥1,200+税

少年時代マイケルは、自然豊かなペテ
ィグルーさんの湿地で楽しい時を過
した。だがそこに原発建設計画が持ち
上がり、村は二分されたが着工に至る。
50年後帰郷した彼が見たものは——。
過去から学び未来へ思いを馳せる重要
性を穏やかな挿絵と共に静かに伝える。

933 り
大地のランナー
—自由へのマラソン—
(鈴木出版の海外児童文学 この地球を生きる子どもたち)



ジェイムズ・リオードン 作
原田勝 訳
鈴木出版 205P ￥1,500+税

人種隔離政策下の南アフリカ。デモに
巻き込まれ両親と妹を失った黒人サム
は、辛い鉱山勤務の傍ら自慢の俊足で
黒人解放をめざす。南ア初の黒人金メ
ダリスト、ジョサイア・チュグワネを
モデルに、南アで黒人アスリートが認
められることの辛苦を叙事的に描く。

高学年（5・6年）から

933 る

ミサゴのくる谷

(評論社の児童図書館・文学の部屋)



ジル・ルイス 作

さくま ゆみこ 訳

評論社 278P ￥1,600+税

カラムとアイオナは釣り糸に絡まった渡り鳥のミサゴを助け、アイリスと名付け発信器を取り付ける。カラムは急死したアイオナの遺志を継ぎアイリスの旅を見守るが、アフリカで動向不明に。スコットランドの広大な自然の中、ミサゴを軸に世界と繋がる人々を描く。

943 つ

ぼくとヨシュと水色の空



ジーグリット・ツーフエルト 作

はたさわ ゆうこ 訳

徳間書店 281P ￥1,500+税

生まれつき心臓が弱いヤンには、何かと彼を守ってくれる親友のヨシュがいる。ヤンの手術が数日後に迫ったある日、ヨシュが人をナイフで傷つけた疑いをかけられ、いなくなってしまう。家庭の問題やいじめなどを絡めながら、少年たちの友情を温かく描いた物語。

943 な

マッティのうそとほんとの物語



ザラー・ナオウラ 作

森 川 弘 子 訳

岩波書店 168P ￥1,600+税

パパの故郷フィンランドで理想の生活が始まるはずだったマッティ一家。ところがそこで待っていたのは、お金も仕事も、今日泊まる場所さえないという現実だった。大人と子ども、それぞれの嘘が絡み合い、とんでもない事態に陥った顛末をユーモラスに綴る。

949 う
サリー・ジョーンズの伝説
—あるゴリラの数奇な運命—
(世界傑作童話シリーズ)



ヤコブ・ヴェゲリウス 作
オスターグレン 晴子 訳
福音館書店 103P ¥2,300+税

ゴリラの子、サリー・ジョーンズは動物愛護家に育てられるが、それは彼女を泥棒として利用するためだった。人間に翻弄され流転を重ねるサリーだが、身に付けた技術と知恵で未来を切り開いていく。緻密に描かれた遊び心あふれる絵が、波瀾万丈の物語を彩る。

973 す
りっぱな兵士になりたかった男の話



グイード・スガルドリ 著
杉本あり 訳
講談社 165P ¥1,300+税

兵士カスパールは「りっぱな兵士であるための九か条」を疑わず、敵の来ない小屋を頑なに守り続ける。そこへ牛を連れた老人が現れ彼に勝手に関わり出す。愚直な兵士と飄々とした老人との交流を通じ、本質を見る目の有無で人生の豊かさが如何に変わるかを描く。

中学生から

(28 点)

913 い
紙コップのオリオン



市川 朔久子 著

講談社 253P ￥1,400+税

母が突然旅に出て中学2年生の論理は義父と妹との3人暮らしになった。学校では創立記念行事の実行委員になり、苦し紛れに出したキャンドルナイトの案が採用される。その準備の中彼は両親への思い、友情、淡い恋心に気づく。星とキャンドルの光の描写が印象的。

913 さ
カントリー・ロード



阪口 正博 作
網中 いづる 絵

B L 出版 165P ￥1,400+税

全校生徒23人の田舎の中学校に転校した浩紀。新入りは目立たないようにと心がけていたのに、男子全員強制参加の野球部でピッチャーに抜擢される。秋の3校対抗戦に向け、深まる人間関係を通し、彼が得た「一生の宝物」とは？ 思春期の少年を新鮮に描く。

913 た
天狗ノオト



田中彩子 作

理論社 318P ￥1,900+税

小6の保は、亡き祖父のノートに書かれた「天狗ニアフ」の真意を求めて、友人たちと4人で手がかりを探す。そして、祖父が若い頃に出会った天狗の世界を知ることになり——。過去と現在、深山の異世界や天狗伝説を絡めて描く、壮大な日本のファンタジー。

913 な
星空ロック



那須田 淳 著

あすなる書房 239P ￥1,400+税

夏休み、ドイツへ4日間の一人旅をすることになった中学2年生の玲音。老人から預かったSPレコードをある女性の元に届けるために画策する。現地ですでできたバンド仲間と老人の意外な過去をひもとくうちに……。音でつながる友情を軽妙なタッチで描いた本。

913 ひ
お引越し



ひこ・田中 著

福音館書店 258P ￥1,400+税

「今日とうさんがお引越しをした。」両親が離婚した小学6年生のレンコは、母と新しい生活を始め、二人で暮らすための「3ひく1のためのけいやくしょ」を提案する。京都を舞台に思春期の複雑な感情を軽妙な語り口で描く。1990年他社刊に後日譚を加筆、新版。

中学生から

913 や
オレたちの明日に向かって
(Teens' best selections 32)



八 東 澄 子 作

ポプラ社 237P ￥1,400+税

職業体験の学習で保険屋を選んだ中学生の勇気は、「ひとを生かす保険」をモットーに、お客さんと誠実に向き合う今井さんに感銘を受ける。3日間の体験をきっかけに、彼は自分の未来を前向きに考え始める。今井さんの業務日誌も綴られ、仕事の内容もわかる。

913 り
エルトゥールル号の遭難
—トルコと日本を結ぶ心の物語—



寮 美千子 文
磯 良一 絵

小学館クリエイティブ 63P ￥1,200+税

なぜトルコは世界で屈指の親日国なのか？ 120年前に紀伊半島沖で起きた軍艦エルトゥールル号遭難時の村人の献身的な救助と、国家間の体面やもくろみを船の視点で語る。国際交流が盛んな現代に、真の意味での交流を問いかける。濃彩で細密な挿絵が美しい。

933 あ
モッキンバード



キャスリン・アースキン 作
ニキ リンコ 訳

明石書店 270P ￥1,300+税

アスペルガー症候群のケイトリンは人の感情を読むのが苦手。銃乱射事件で一番の理解者の兄を失い、父との生活は混迷する。やがて、周囲に助けられ「目標を定めて一個一個努力でクリア」し——。彼女独特の考え方で、兄の言葉を指針に成長する姿を描く。

933 え
 コールド・ショルダー通りのなぞ
 (「ダイドーの冒険」シリーズ)



ジョン・エイキン 作
 こだま ともこ 訳
 山本美希 画
 富山房 519P ¥1,819+税

いとこ同士のアランとイスが故郷のイギリスに帰ると、密輸団が町を支配していた。アランの母を捜すうち二人も密輸団に狙われる。誰が敵か味方か分からない中、次々と起こる危機に二人は、「声にならない声」を武器に立ち向かう。奇想天外な冒険物語。

933 か
 象使いティンの戦争



シンシア・カドハタ 著
 代田 亜香子 訳
 作品社 235P ¥1,800+税

11歳のティンは、ベトナム戦争の気配を感じながらもおだやかに暮らし、最年少の象使いになる修行に励んでいた。1975年アメリカ軍の撤退により、彼の村は北ベトナムに襲撃され否応なく戦争に巻き込まれていく。戦争とは、正義とは何かを考えさせる一冊。

933 き
 語りつぐ者



パトリシア・ライリー・ギフ 作
 もりうち すみこ 訳
 さ・え・ら書房 268P ¥1,600+税

夢見がちな少女エリザベスは、自分とよく似た祖先ズイーの肖像画と出会い、強い絆を感じた。彼女はある日、絵の裏に不思議な線や印を見つけたことから、200年前のズイーの過酷な人生を辿る。現代のエリザベスと米国独立戦争時代のズイーの成長を交互に描く。

中学生から

933 く
さよならを待つふたりのために
(STAMP BOOKS)



ジョン・グリーン 作
金原 瑞人 訳
竹内 茜 訳
岩波書店 337P ¥1,800+税

16歳のヘイゼルは、甲状腺がんが肺へ転移し酸素ボンベが手放せない。彼女はがん患者のためのサポートグループで、17歳の少年オーガスタスと出会い、愛読書の交換をきっかけにひかれ合うようになる。死と向き合いながらも輝こうとする若者たちの物語。

933 た
サラスの旅



シヴォーン・ダウド 著
尾高 薫 訳
ゴブリン書房 365P ¥1,700+税

どこにも居場所を見つけられない14歳のホリーは、引き取られた里親の元でウィッグを見つけ、ゴージャスな17歳のサラスに変身。母に会おうとヒッチハイクを続けるうち、様々な人と出会う。封じ込めた過去と向き合い、自らを発見する少女の姿を刺激的に描く。

933 は
パンとバラ
—ローザとジェイクの物語—



キャサリン・パターソン 作
岡本 浜江 訳
偕成社 338P ¥1,600+税

貧困にあえぐイタリア系移民の労働者たちは、少女ローザが書いた「パンがほしい、そしてバラも。」というスローガンを掲げストライキを始める。その騒動をさげ疎開したローザは、ある少年と同居する羽目になり……。20世紀初頭、米国での史実を基にした作品。

933 ふ
テラプト先生がいるから



ロブ・ブイエー 作
西田佳子 訳
静山社 287P ￥1,600+税

5年生の新米担任テラプト先生は一味違う。「1ドル言葉」を探したり、サッカー場の草の数を数えたりと、アイデア溢れる授業で学校は楽しい場所になってきた。しかし、ある事故が起こり——。7人の子ども達が代わる代わる気持ちを語り、物語を築き上げる。

933 ふ
シフト



ジェニファー・ブラッドベリ 著
小梨直 訳
福音館書店 383P ￥1,700+税

クリスとウィンは、高校の卒業旅行に自転車での米国大陸横断に挑戦した。しかしウィンは途中で姿を消し、行方不明になる。あらぬ疑いをかけられたクリスは、自分にしか分からない手掛かりを得て、ウィンを探す行動を起こす。自立を模索する少年たちの物語。

933 ほ
ローズの小さな図書館



キンバリー・ウィリス・ホルト 作
谷口由美子 訳
徳間書店 254P ￥1,600+税

14歳のローズは作家を夢見ていたが、家族のために年齢をごまかし移動図書館車のドライバーとして働き始めた。そこでルーサーと知り合い結婚、息子が生まれ、時は流れていく。ローズ、息子、孫、ひ孫の4世代それぞれの物語に、各時代の話題の本が色を添える。

中学生から

933 ま
沈黙の殺人者
(海外ミステリーBOX)



ダンディ・デイリー・マコール 作
武 富 博 子 訳
評論社 410P ￥1,600+税

ホープの兄は特別な個性を持ち10年来言葉を発していない。そんな兄に殺人容疑がかかるが彼は沈黙のままだ。妹のホープだけが無罪を信じ法廷に通う。やがて浮かび上がる複雑な人間関係の中、彼女が見つけた真実とは？ ひたむきに奔走する少女を描く推理小説。

933 ま
バンヤンの木
—ぼくと父さんの嘘—



アーファン・マスター 作
杉 田 七 重 訳
静山社 317P ￥1,600+税

ビラルの父は宗派をこえて共存するという理念を持っていた。だが、それとは裏腹に国の宗教対立は激化する。ビラルは親友たちの助けを借り、余命短い父にある嘘をつく決心をする。1947年印パ分断の暴動に翻弄されながら、父を守り抜こうとする少年の姿を描く。

933 ま
めざめれば魔女
(岩波少年文庫 609)



マーガレット・マーヒー 作
清 水 真 砂 子 訳
岩波書店 382P ￥800+税

超能力を持つ14歳のローラ。弟が不気味な男から手にスタンプを押されてしまい、その直後から生命力を吸い取られるように衰弱する。弟を助きたい彼女は、魔女だと感じる上級生に近づき……。多感な少女の変身を超自然的に描いた物語。1989年版を文庫化改訳。

933 め
木の葉のホームワーク



ケイト・メスナー 著
中井はるの 訳
講談社 287P ￥1,400+税

7年生のジーナの願いは陸上競技の大会に出場する事だが、それには科学の宿題提出が必須だった。しかし完成間近の宿題は、更衣室でひどい有様に。祖母の認知症を巡る母との確執やライバルの仕打ちを乗り越え、不器用な少女が自分らしさを見出していく物語。

943 し
泥棒をつかまえろ！



オットー・シュタイガー 作
高柳英子 訳
童話館出版 274P ￥1,500+税

クラスの夏休みの合宿中、徴収したお金が盗まれた。この中に犯人が？ しかし警官は、ある脱走犯が犯人と断言し、自分たちでつかまえな！と言う。少年たちは先生を中心に彼の追跡を始め、追いつめていく。群集心理の怖さを描いた作品。1988年刊の再刊。

943 へ
過去への扉をあける



ハンス＝ユルゲン・ペライ 作
酒寄進一 訳
童話館出版 277P ￥1,500+税

9年B組は、街の歴史を700年祭で展示することになる。資料を調べ人々の証言を集めるうち、ドイツの小さな街にもナチスの影響が浸透していたと知る。妨害や抵抗にあいつつ様々な思いを抱え展示会を成功させようとする生徒たちを描く。1990年刊を一部修正。

中学生から

943 へ
14歳、ぼくらの疾走
—マイクとチックー
(Y. A. Books)



ヴォルフガング・ヘルンドルフ 作
木 本 栄 訳
小峰書店 311P ￥1,600+税

マイクの母はアル中で父は不倫中。その上、憧れの女の子のパーティーにも呼ばれなかったマイクは、やけになり、転校生で型破りなチックと盗んだ車で旅に出る。無謀な旅で出会う人々との交流を通し、彼らは友情を深めていく。爽快感あふれるドイツの青春小説。

943 ら
庭師の娘



ジークリート・ラウベ 作
若 松 宣 子 訳
中 村 悦 子 絵
岩波書店 239P ￥1,900+税

修道女になる事を父に決められていたマリーは、ずっと庭師を夢見ていた。しかし父は、女性の職業とは認めず反対する。ある日、理解ある博士の後押しで自分の理想とする斬新な庭を造り……。18世紀ウィーンを舞台に自分の夢を追い求める少女を描く。

953 ほ
犬のバルボッシュ
—パスカレ少年の物語—
(福音館文庫 S-69)



アンリ・ボスコ 作
天 沢 退 二 郎 訳
ジャン・パレイエ 画
福音館書店 357P ￥750+税

ある夏の終わり、伯母さんはパスカレ少年と故郷を訪ねる旅にでる。つかず離れず、二人に付き添う愛犬のバルボッシュ。夢と現実が交錯する旅の中で少年が見たものは——。幻想的で独特な情景が描き出される、南フランスの物語。1984年版を加筆訂正して文庫化。

989 え
金色の髪のお姫さま
—チェコの昔話集—



カレル・ヤロミール・エルベン 文
木村有子 訳
アルトゥシ・シャイネル 絵
岩波書店 189P ¥1,900+税

あるところに動物の言葉がわかるようになる力を手に入れた男がいた。男は王の命により、金色の髪のお姫さまを探す旅に出る、という表題作を含む13の話。チェコのグリムと評される作者がよみがえらせた昔話が、美しい色彩の重厚な挿絵とともに味わえる。

991 ほ
ホメーロスのイーリアス物語
(岩波少年文庫 610)



ホメーロス 原作
バーバラ・レオニ・ピカード 作
高杉一郎 訳
岩波書店 374P ¥880+税

長く続いたギリシアとトロイアの戦争は、英雄たちとオリュンポスの神々によって、9年目にして終わりを告げようとしていた。今から約3000年前に書かれた叙事詩を、読みやすく再話した壮大な歴史戦記物語。後日譚の『ホメーロスのオデュッセイア物語』もある。

ノンフィクション

(32 点)

E (幼児から)

おかしなゆき ふしぎなこおり
(ふしぎいっぱい写真絵本 20)

片 平 孝 写真・文

ポプラ社 37P ¥1,200+税



冬の朝、夜から降り積もった雪は、町や野山などいろいろな場所で様々な形を見せる。コックさんの帽子のような雪、大きな車輪の形になった雪玉、シャンデリアのような氷——。自然の力が作りだした雪と氷の不思議な形を、迫力のある美しい写真で紹介する。

E (高学年から)

世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ

くさば よしみ 編

中 川 学 絵

汐文社 32P ¥1,600+税



2012年、地球環境に関する国際会議がブラジルで開かれた。そこで行われた南米ウルグアイのムヒカ大統領の演説を意識し、子どもに分かりやすい表現で紹介した絵本。大きな拍手に包まれた彼の演説からは、真の人類の幸福とは何かを考えさせられる。

E (高学年から)
わたしはガリレオ



ボニー・クリステンセン 作
渋谷 弘子 訳
さ・え・ら書房 33P ¥1,400+税

1564年に生まれたガリレオは、改良した望遠鏡で天体観測をし、コペルニクスの太陽中心説が正しいことを発表した——。当時は認められず不遇の晩年を過ごしたその生涯を、自身が振り返る形で語る伝記絵本。巻末に年表、実験や発明品などの解説もある。

015 ふ (中学年から)
図書館のトリセツ
(世の中への扉)



福本 友美子 著
江口 絵理 著
スギヤマ カナヨ 絵
講談社 153P ¥1,200+税

図書館の機能とその利用方法を、楽しく分かり易い説明と豊富なイラストで紹介。利用マナーや本の分類と並び方などの基礎知識から、面白い本と出会う裏ワザ、調べ学習や自由研究に役立つ使いこなし方までを網羅している。「トリセツ」は取扱い説明書の略語。

230 あ (中学年から)
おもいでてくださいあのこどもたちを



チャナ・バイヤーズ・アベルス 構成・文
おびただす 訳
汐文社 49P ¥1,500+税

ナチスによる迫害から大虐殺に至る時代を、懸命に生きたユダヤ人の子どもの姿を追った絵本。穏やかな生活が過酷になるにつれ、次第に笑顔が消えていく。ナチス虐殺記念館で調査活動に関わった著者が、収蔵写真に文を付けまとめた。1989年他社刊の新装新訳。

ノンフィクション

281 い (高学年から)

闇を照らす六つの星

—日本点字の父 石川倉次—

小 倉 明 著

汐文社 135P ￥1,400+税



明治時代、フランスから伝わった点字の翻案に取り組んだ石川倉次。東京盲啞学校の同僚教師たちと議論を交わし、努力を重ね、日本語の五十音を6点の点字で表すことを可能にした。日本点字制定の最大の功労者であり、その普及や改良にも携わった彼の生涯を綴る。

281 い (中学年から)

ぼくは、いつでもぼくだった。

(くもんの児童文学)

いっこく堂 著

中 村 景 児 絵

くもん出版 141P ￥1,200+税



本土復帰前後の沖縄で少年時代を過ごした著者は、友だちに無視されつらい思いをする。しかし沖縄戦を経験した人々の言葉「命こそ宝」を胸に人を喜ばせようと努力し、腹話術師となる。今を大切に生きることが明日への幸せにつながることを教えてくれる一冊。

281 か (中学生から)

神谷美恵子

—ハンセン病と歩んだ命の道程—

大 谷 美和子 著

くもん出版 175P ￥1,400+税



ハンセン病への偏見が根強い時代、その療養所を訪れた20歳の美恵子。ハンセン病医療に携わろうと決心し、精神科医になるが、医療に関わることもできない日々を過ごす。43歳で念願のハンセン病療養所の医師となり、患者たちに寄り添った彼女の生涯を綴る。

292 い (中学年から)
川をのぼって森の中へ
—ボルネオ島マハカム川の旅—



今 森 光 彦 著

偕成社 38P ￥1,600+税

ボルネオ島の深い森を流れるマハカム川。その恩恵を受ける人々や豊かな自然を、著者が川を遡りながら美しい写真に収めた。活気ある河口の町や川岸の住民生活、幻想的な景色を目にしながら辿り着いた村では、伝統を守る先住民族と数々の珍しい生物に出会う。

367 た (高学年から)
戦争がなかったら
—3人の子どもたち10年の物語—
(ポプラ社ノンフィクション 17)



高 橋 邦 典 著

ポプラ社 189P ￥1,500+税

報道カメラマンの筆者は、リベリアの内戦を取材中、3人の子どもたちに出会う。少年兵にされた13歳のモモと14歳のファヤ。砲弾で右手を失った6歳の少女ムス。内戦後も彼らを10年間追いつけ、戦争が及ぼした影響とは何かを写真と共に問いかける。

369 お (中学年から)
いつか帰りたいほくのふるさと
—福島第一原発20キロ圏内から来たねこ—



大 塚 敦 子 写真・文

小学館 35P ￥1,500+税

2011年3月11日、東北地方を巨大地震と津波が襲い、福島第一原発は大きな事故を起こした。住民が避難する中、残された動物たちは飢えや事故で次々と死んでいく。警戒区域内で保護された猫の目を通して、震災によりもたらされた福島の実現を写真とともに描く。

369 た (高学年から)
「あの日」、そしてこれから
—東日本大震災 2011・3・11—



高橋邦典 写真・文

ポプラ社 157P ¥1,350+税

大震災直後に取材した人々を、1年後に訪ね、そこで語られた言葉を、写真とともに綴る。あの日、当たり前が続くはずの日常を断ち切れ、家族を奪われた。その孤独や将来への不安を抱えながらも生きていく彼らの一言一言が、被災者の現実を映し出す。

369 ほ (高学年から)
思い出をレスキューせよ！
—「記憶をつなぐ」被災地の紙本・書籍保存修復士—



堀米 薫 文

くもん出版 111P ¥1,400+税

書籍の修復を専門とする釜野聡子さんは、東日本大震災の被害を受けた故郷で、汚れてしまった写真や資料を洗浄するプロジェクトを引き受ける。多くの人々と協力しながら、被災者の思い出を救い、記憶をつなごうと行動する彼女の、熱意あふれる挑戦を綴る。

370 う (中学年から)
ランドセルは海を越えて
(シリーズ 自然いのちひと)



内堀 タケシ 写真・文

ポプラ社 41P ¥1,400+税

アフガニスタンの子どもたちは、長びく戦争のため、勉強することや当たり前前に成長することが難しい。その現状を、日本から送られた使用済みのランドセルを手にした子どもの様子を捉えた写真と共に伝える。生きることの尊さを知る子らの、豊かな表情が印象的。

370 た (高学年から)
弁当づくりで身につく力
(世の中への扉)



竹下和男 著

講談社 171P ￥1,200+税

子どもたちが自分で作った弁当を持って登校する「弁当の日」。2001年に香川県の滝宮小学校で始まり、全国に広がったこの取り組みを、当時の校長である著者が紹介。弁当作りの体験を通して、家庭料理の持つ力に気づき、成長する子どもや親たちの姿を伝える。

380 お (中学年から)
パンがいっぱい
(ランドセルボックス)



大村次郷 写真・文

福音館書店 32P ￥1,200+税

パン発祥の地、西アジア地方の多様なパンを写真とともに紹介。市場でパンを売る様子、土窯で焼く作り方、折り曲げたパンをスプーン代わりにする食べ方等、土地の人々とパンとの関わりも興味深い。様々な国の、食を中心とした文化を垣間見ることができる一冊。

450 ま (中学年から)
こおり
(たくさんのふしぎ傑作集)



前野紀一 文
斉藤俊行 絵

福音館書店 40P ￥1,300+税

水にインクをとかして凍らせても、色のついた氷をつくることはできない。その理由は？ 氷が持つ不思議な性質を、家庭でできる実験を交えて解説。水が氷になる原理や、氷の性質と海流の関係なども、透明感のある絵と共にわかりやすく説明している。

486 う (幼児から)

タガメのいるたんぼ

(ふしぎいっぱい写真絵本 22)



内山りゅう 写真・文

ポプラ社 37P ￥1,200+税

春の水田にはゲンゴロウやカエルなどたくさんの生き物たちが集まってくる。その中でも生息地が減っているタガメに注目し、獲物を捕食する様子、産卵から孵化し、成長する過程などを迫力ある写真で紹介。生き物があふれる豊かな環境を保全する大切さを伝える。

486 な (高学年から)

おどろきのスズメバチ

(世の中への扉)



中村雅雄 著

講談社 157P ￥1,200+税

「もっとも危険な昆虫」として恐れられるスズメバチ。春に始まる巣作りから、産卵、子育て、越冬までの1年間を、キロスズメバチの生態を中心に、図や写真を用いて分かりやすく紹介する。長年スズメバチを観察してきた著者の研究成果が詰まった一冊。

486 も (中学年から)

ものまね名人ツノゼミ

(たくさんのふしぎ傑作集)



森島啓司 文・写真

福音館書店 39P ￥1,300+税

ツノゼミはセミの仲間だが、セミよりずっと小さく、背中にあるツノで植物や昆虫を擬態している。アリによく似たアリツノゼミなど、南米や日本の変わった形のツノゼミの生態を豊富な写真と共に紹介。鮮明な拡大写真のそばに実物大シルエットがあり、興味深い。

487 ま (中学年から)
かえるくんどっちがどっち?
(絵本であそぼ!いきものさがし 2)



松橋利光 著

アリス館 36P ￥1,400+税

見た目がそっくりなカエルも並べて比べてみると……。前、横、後ろと、様々な角度から撮った写真で種類の違いや見分け方をわかりやすく解説。カエルあてクイズや、いろいろなカエルの鳴き声や鳴く時期がわかる「カエルの1ねん」も掲載されている。

489 や (中学生から)
ゴリラは語る
(15歳の寺子屋)



山極寿一 著

講談社 94P ￥1,000+税

人間を威嚇し、容易には近づかせないゴリラ。霊長類の研究を続ける著者は、ジャングルを渡り歩く彼らを辛抱強く観察し、ようやく受け入れてもらう。ゴリラたちの穏やかで平和な生き方から、人間が見失った、大切なものを伝えてくれる一冊。

519 や (高学年から)
アマゾン川
—多摩川でいのちを考える—



山崎充哲 著

旬報社 174P ￥1,500+税

アマゾン川にいるはずの魚が釣れる、水温が上昇する……。水質汚染から蘇った東京の多摩川を再び人間が脅かしている。現在の川とそこに生きる命との向き合い方を、飼えない魚を引き取る「おさかなポスト」の活動を中心に、誰でもできる取り組みを交えて語る。

ノンフィクション

520 は (中学生から)

世界を変えた建物

—子どもに教えたい 大人にも知ってほしい—



クリスティーネ・パクスマン 著

アンネ・イベリングス 絵

エクスナレッジ 63P ¥1,800+税

人類はこれまでにピラミッド、古代ギリシア神殿、教会や城、エッフェル塔など、様々なものを建ててきた。これらの建物の始まりである大昔の「家」から、近・現代建築や未来の建物への展望までを年代順に絵で解説。巻末に建物移り変わり早見図、用語解説あり。

530 う (中学年から)

宇宙探検えほん



小学館

56P ¥1,700+税

太陽系にはどんな星がある？ どうしたら宇宙飛行士になれる？ いつか火星に住むことができる？ 天体の秘密から、宇宙探検の歴史や開発計画まで、多岐にわたる情報を、豊富な写真や絵とともにコンパクトにまとめた一冊。「宇宙飛行士名鑑」も掲載。

550 ま (高学年から)

舟をつくる



前田次郎 文

関野吉晴 写真

徳間書店 32P ¥1,600+税

日本人の祖先が渡ってきた海を、手作りの丸木舟で航海しよう！ 自然の中から素材を集め、道具を作り、伝統的な方法で舟を完成させる。文化人類学者とその教え子たちが、数多くの手のかかる工程を経て、ついに海に乗り出すまでを、写真とともに綴った記録。

610 な (高学年から)
平さんの天空の棚田
(写真絵本・祝島のゆるがぬ暮らし 第1集)



那 須 圭 子 写真・文

みずのわ出版 76P ¥2,000+税

原発建設計画に反対し続けている島として知られる、山口県の祝島。この島で生まれ育った平萬次さんは、米作りを引き継いで50年以上になる。田植えや稲刈りなどを一人でこなし、祖父が開いた巨大な棚田を守り続ける平さんの姿を、美しい写真とともに紹介する。

620 お (低学年から)
おいしいほしがき
—おばあちゃんをつくったよ!—
(しぜんにタッチ!)



宇 部 京 子 文

細 川 剛 写真撮影

ひさかたチャイルド 28P ¥1,200+税

干し柿は古くからある保存食。そのままでは渋くて食べられない柿を、おばあちゃんが昔からの知恵でおいしい干し柿に変えていく方法を、写真と共にわかりやすく説明している。干し柿作りを通じた孫との交流もほほえましい。巻末でこの本の干し柿の作り方を紹介。

640 も (中学年から)
うちは精肉店



本 橋 成 一 写真と文

農山漁村文化協会 36P ¥1,600+税

家畜を切り分け食肉にする場所、屠場。閉鎖予定の屠場で行われた最後の屠畜の様子を、白黒の写真で紹介する。一頭の牛の解体過程を丁寧に描き、命を頂くことの重みを伝える。飼育・屠畜も行う精肉店を代々営む家族の、命と向き合う仕事への真摯な姿勢も印象的。

650 よ (中学年から)
ゾウの森とポテトチップス
(そうえん社写真のえほん 11)



横塚 眞己人 シャしんとぶん

そうえん社 30P ¥1,300+税

様々な食品や洗剤などに使われているパーム油。ボルネオ島では、パーム油をとるために野生動物が暮らす熱帯雨林が伐採され、アブラヤシの農園が作られている。人間の生活のために森が減り、その結果すみかを追われるゾウの様子を写真と共に紹介した一冊。

700 さ (中学年から)
美術館にもぐりこめ！
(たくさんのふしぎ傑作集)



さがら あつこ 文
さげさか のりこ 絵

福音館書店 40P ¥1,300+税

開館前の美術館、そのお宝を狙って3人組の盗賊団が忍び込む。彼らの目線で、館内の展示室や倉庫、管理室の様子、企画展の準備、作品の運搬方法、展示の工夫やセキュリティーなど、美術館のウラ側を解説。コマ割りとふきだしのセリフが漫画風で楽しい。

916 は (中学生から)
死の川とたたかう
ーイタイイタイ病を追ってー
(偕成社文庫 4080)



八田 清信 著

偕成社 268P ¥800+税

じんづうがわ
富山市の神通川中流域では、長く奇病に苦しむ人々がいた。町の医師・萩野博士は病の原因が川の水にあることをつきとめ、鉍毒説を発表する。日本の公害病第1号となった「イタイイタイ病」の、命名から公害裁判勝訴までを追った記録。新解説も加え、新装改訂。

子どもたちへ原爆を語りつぐ本
— 総集版・2005 —
— 補遺版5 —

1. 紙 芝 居

(2 点)

P 〈広〉
おばあちゃんの人形

佛教大学社会福祉学部・黒岩ゼミ 制作

本の泉社 13枚 2013年



あいこの祖母は5歳の頃に原爆にあったが、当時の記憶をなくしていた。ある時、いつも笑顔の祖母が泣いているのでその訳を聞くと……。孫の人形を見て63年前の原爆の記憶が蘇った祖母が被爆時の様子を語り始める。京都に住む被爆者をモデルとした紙芝居。

P 〈広〉
シュモーさんとヒロシマの家

シュモーさんの「ヒロシマの家」を語りつぐ会 作
山 先 方 江 絵

シュモーさんの「ヒロシマの家」を語りつぐ会 11枚 2013年



広島原爆投下に心を痛めた米国人のシュモーさんは、被爆者のために家を作ってようとアメリカで募金活動を始めます。自らも広島で建設に加わり、21軒の家を建てた彼の活動を水彩画で描いた紙芝居。ただ一軒残ったシュモーハウスについても写真で紹介している。

2. 絵 本

(7 点)

E 〈広〉
うわさごと



梅 田 俊 作 文・絵

汐文社 39P 2012年

うわさを信じてケンカをした私に、祖父が子どもの頃の話語る。広島で原爆にあい、遠い親戚の所に来た転校生に、うわさをうのみにして心無い言葉を発した祖父の兄を、その父が戒めたという。うわさに流されず物事の真実を見極めることの大切さを訴える絵本。

E 〈広〉〈長〉
げんばくとげんぱつ



増 山 麗 奈 文・絵

子どもの未来社 19P 2013年

追悼碑に選ばれた石の「ほく」は被爆者の苦しみを知り、原爆のない世界を願う。しかし福島第一原発事故の発生で再び被曝の恐怖を目の当たりにし……。東京の滝野公園に実在する原爆犠牲者追悼碑を主人公に、深みのある色彩の絵で原爆と原発の記憶を伝える。

子どもたちへ原爆を語りつぐ本

E 〈広〉
さがしています



アーサー・ビナード 作
岡倉 禎 志 写真
童心社 32P 2012年

「ピカアアアアッ」。原爆が落ちた瞬間から、わたしたちは探している。聞けなかった言葉を。会えなくなった人を……。被爆のカタリベとなった、時計や軍手などの「もの」たちが語る言葉を、画面いっぱい撮影された姿とともに掲載する写真絵本。

E 〈広〉
ちいさなおはか



おおた そら 文
鈴木 康 治 絵
文芸社 19P 2012年

「ずっとむかしのはなしです おおきなせんそうありました」。父さんがボクに10代の頃の話をしてくれた。戦争中、祖国を離れてきた一家と親しくなったこと。原爆が落とされた時のこと——。戦争体験を語り継ぐことの大切さを伝える、実話を基にした絵本。

E 〈広〉
はだしのゲン BAREFOOT GEN
一絵本一



中 沢 啓 治 著
Elizabeth Baldwin 訳
DINO BOX 47P 2013年

戦争の中、家族とともに精一杯生きていたゲンは、原爆投下直後の地獄のようなまちの中を無我夢中で走り逃げる。一夜明けたまちには、黒こげの死体があふれていて——。漫画『はだしのゲン』の絵本版。全頁カラー、英文併記。1980年汐文社版の新装・英日版。

E 〈広〉

ピカドン きのご雲の下で見つけた宝物



佐藤 廣枝 著

南有田 秋徳 絵

HPS国際ボランティア 32P

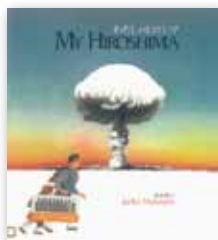
2013年

8月5日、小学1年生だったわたしの疎開先に、広島から家族がたずねて来てくれた——。原爆投下後、広島にただ一人残った兄を探しに行き入市被爆した著者の体験をとおして、未来を担う子どもたちに平和の大切さを伝える。千羽鶴の再生紙でつくられた本。

E 〈広〉

MY HIROSHIMA

—わたしのヒロシマー



森本 順子 作・絵

HPS国際ボランティア 38P

2012年

家族と平和に暮らしていた女の子の生活が、一発の原子爆弾で消えてしまった。思い出深いふるさと「ひろしま」が、「その日」どうなってしまったかを、少女の視点でありのままに描く。英訳併記。2011年版の改訂。関係者のメッセージ・著者あとがきを再編集。

3. フィクション

(4 点)

913 く 〈広〉
八月の光



朽木 祥 作

偕成社 145P 2012年

父を戦争で亡くし、母と二人で暮らす光子は、疎開の前日に、家の中で被爆する。銀行に出かけたまま帰ってこない母を探しに行った光子が見たものは——。この「石の記憶」など、広島の実験を体験し生き残った若者の、悲しみや苦悩を描いた3編を収める。

913 く 〈広〉
光のうつつえ
—広島 ヒロシマ 広島—



朽木 祥 作

講談社 189P 2013年

中学生の^{のぞみ}希未たちは、恋人を亡くした教師や娘たちを失った夫婦などから広島での被爆体験を聞き、彼らの思いを絵や彫刻で描き出そうとする。灯籠流しの描写から始まる静かに流れるような文で、原爆投下によってもたらされた事実と残された人々の苦悩を伝える。

913 なー5 〈広〉
那須正幹童話集 5
—ねんどの神さま—



那 須 正 幹 作
武 田 美 穂 絵
ポプラ社 153P 2014年

8月6日、女学生だったキヨ姉ちゃんを見送ったあの日の思い出を、年老いた久江が語る「八月の髪かざり」、核戦争後の世界を描いた「The End of the World」など3編。3歳の時広島で被爆した著者の童話集。第5巻は戦争と平和を問いかける物語を収める。

913 も 〈広〉
青い空がつながった



毛 利 まさみち 作
うめだ ゆ み 絵
新日本出版社 126P 2014年

石巻市で東日本大震災に遭い、家族で広島に引っ越してきた麻美は、広島で原爆被害について学ぶ。震災で多くの人の死を見た彼女は、広島でもたくさんの人の命が失われたと知り、平和への思いを募らせる。人々が手をつなぎ助け合うことの大切さを教えてくれる物語。

3. ノンフィクション

(24 点)

099 か〈広〉
原爆の子の像
一六年竹組の仲間たち一

川 野 登美子 著

文化評論 98P 2013年



2歳の時に被爆した佐々木禎子さんは運動が得意で活発な少女だった。しかし12歳で白血病を発症し入院する。当時の広島市立幟町小学校六年竹組の同級生たちが、禎子さんの思い出と「原爆の子の像」建立までの活動を綴り、平和の大切さと命の尊さを伝える。

209 しー2 〈広〉〈長〉
人類の歴史を変えた8つのできごと 2
一民主義・報道機関・産業革命・原子爆弾編一
(岩波ジュニア新書 712)

眞 淳 平 著

岩波書店 263P 2012年



人類の歴史を大きく変えた出来事を2分冊で紹介。第2巻では、最終章に兵器の歴史を取り上げ、弓矢の戦いから原爆投下、さらには急激に進歩する戦争技術を論じる。軍事と科学の密接な関連や、核兵器と核開発へのさまざまな動きから、人類の未来を考えさせる。

210 せ 〈広〉
 せんそうってなんだったの？
 一語りつぎお話絵本 ほんとうにあった4つのお話—



ささき あり 作
 井上 こみち 作
 戸田 和代 作
 夏目 尚吾 (ほか) 画
 学研教育出版 79P 2013年

原爆投下の2日後に広島市内に入った仁方駅員は、変わり果てた町を目にする（「おねがいです、水をください」）。このほか、2007年出版の「せんそうってなんだったの？」（全8巻）から抜粋した3話を収めた本。巻末に「せんそうと原ばく」などのコラムもある。

210 せ 2-9 〈広〉
 せんそうってなんだったの？ 第2期9
 一広島原爆、少年の死—
 一8月6日、モリオの見た空—
 （語りつぎお話絵本）



井上 こみち 文
 すがわら けいこ 絵
 学研教育出版 31P 2014年

広島に住む中学1年生のモリオは、町の家屋を取り壊す作業中に被爆する。家族はモリオの無事を祈りながら、焼け野原となった町を探し続けるが……。戦争を体験した人の話をもとに書かれたシリーズの1冊。巻末には原爆の被害や核兵器についての解説もある。

210 せ 2-10 〈長〉
 せんそうってなんだったの？ 第2期10
 一長崎原爆、生死を分けた運命—
 一それでも星はかがやいていた—
 （語りつぎお話絵本）



光丘 真理文 文
 藤本 四郎 絵
 学研教育出版 31P 2014年

学徒動員で長崎の軍需工場に行っていた旧制高校2年生の治正は、8月9日に原子爆弾の炸裂を目撃する。仲間を探して向かった町は変わり果てていて——。実際に原爆を体験した人の話をもとに書かれた物語。巻末に長崎の原爆と勤労働員の解説がある。

子どもたちへ原爆を語りつぐ本

210 て〈広〉〈長〉
綾瀬はるか『戦争』を聞く
(岩波ジュニア新書 741)



TBSテレビ『NEWS23』取材班 編
岩波書店 191P 2013年

広島出身の俳優・綾瀬はるかが戦争による被害者を取材したテレビ番組を、書籍化したもの。自身の祖母に初めて聞いた原爆の話や、建物疎開のため義勇隊にかり出された夫を原爆で失った女性の話など、13人それぞれの戦争の辛い記憶と今の思いが語られる。

210 に〈広〉〈長〉
日本の戦争遺跡図鑑
—そこで、何が起こったの?—
—歴史を正しく知るために—



PHP研究所 63P 2013年

明治初期から太平洋戦争までの、軍事施設や工場、戦災地、戦争に関連する建造物など、日本の戦争遺跡を紹介。第7章では広島や長崎の原爆遺跡を取り上げる。各遺跡の成り立ちや歴史などを写真や図で解説し、巻末には主な平和博物館・資料館ガイドもある。

210 へー5 〈広〉〈長〉
平和を考える戦争遺物 5
—広島・長崎・空襲—



是恒高志 編

汐文社 55P 2014年

博物館などに保存されている戦争の遺物をまとめたシリーズ。第5巻では原爆と空襲がもたらした惨状を、残された品々と、当時の証言や絵・写真とともに紹介。さびついた焼夷弾や砲弾、時を止めた時計や焼け焦げた夏服が、「あの日」の出来事を語っている。

310 ひ 〈広〉
被爆アオギリと生きる
一語り部・沼田鈴子の伝言一
(岩波ジュニア新書 740)



広 岩 近 広 著
岩波書店 242P 2013年

22歳の時に広島で原爆にあい、左足を失った沼田鈴子さん。自身の被爆体験を被爆アオギリに重ね合わせ、58歳から28年間にわたって国内外で証言活動を行い、「反戦・反核・反差別」を訴え続けた。彼女の証言と、2011年に亡くなるまでの活動の軌跡を綴る。

310 み 〈広〉
奇跡はつばさに乗って
(世の中への扉)



源 和 子 著
講談社 155P 2013年

ニューヨークの「9・11追悼施設」に寄贈された、佐々木禎子さんの折り鶴。世界平和のメッセージとして届けられた鶴を通じて出会った人々は、恨みや憎しみの連鎖を断ち切り、お互いの心を思いやる。禎子さんの兄の平和への願いが交流を生んだ実話を紹介した本。

369 ひ 〈広〉
ヒロシマから「内部被ばく」と歩んで
(わが子からはじまるクレヨンハウス・ブックレット 008)



肥 田 舜太郎 著
クレヨンハウス 63P 2012年

広島陸軍病院に勤務し往診先の戸坂で被爆、その直後から被爆者治療・支援にたずさわってきた著者の講演をもとに再構成したもの。目に見えない放射線による内部被爆の恐ろしさ、更に原子力発電所における放射能問題にも触れており、核廃絶を強く訴える一冊。

子どもたちへ原爆を語りつぐ本

370 いー3 〈広〉
ビジュアル版学校の歴史 3
一校舎・校庭編一



岩本 努 共著
保坂 和雄 共著
渡辺 賢二 共著
汐文社 54P 2012年

Q & A形式の文章と写真で学校の歴史を紹介するシリーズの第3巻。「学校はいつから始まったの?」「校庭に桜の木が多いのはなぜ?」など、校舎と校庭について解説。「学校も空襲にあったの?」の問いで、原爆で被害を受けた広島の本川小学校を取り上げる。

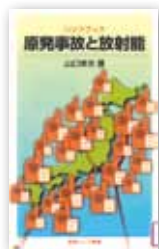
530 け 〈広〉〈長〉
原子力がわかる事典
一正しく知ろう!一
一しくみから放射線・原発まで一



PHP研究所 63P 2012年

原子と原子力、放射線に関する基礎知識から、原子力発電のしくみと課題までをイラストと写真で解説。広島と長崎に落とされた原子爆弾や福島第一原発事故についても紹介する。原子力発電に代わる発電を考えるヒントも加え、原子力とエネルギー問題に迫る。

540 や 〈広〉〈長〉
ハンドブック原発事故と放射能
(岩波ジュニア新書 727)



山口 幸夫 著
岩波書店 162P 2012年

東日本大震災の影響で、福島第一原子力発電所は制御不能に陥り、重大な事故を引き起こした。その実態と原発のリスク、放射能の影響、エネルギー問題などを、多くの図や表とともに解説。広島・長崎の被爆にも触れ、現在も続く放射能被害の甚大さを訴える。

700 しー5 〈広〉〈長〉
修学旅行で行ってみたい日本の世界遺産 5
一広島と九州・沖縄の世界遺産一



本 田 純 著
小 松 亮 一 著
清 野 賢 司 著
岩崎書店 55P 2014年

広島と九州・沖縄の世界遺産を紹介する中で、「負の遺産」である原爆ドームも取り上げる。原爆の被害等を写真と共に解説するほか、ドームの周辺ガイドも掲載。2007年版に加筆して再構成した新版で、原爆を描いた作品や、長崎の原爆遺跡などの説明を加えている。

720 て 〈広〉
原爆といのち
(漫画家たちの戦争)



手 塚 治 虫 (ほか) 著
金の星社 374P 2013年

漫画で戦争を伝えるシリーズのうち、原爆をテーマにした短編集。原爆投下直後の広島を目の当たりにした中沢啓治さんが、自らの体験をもとに描いた作品「おれは見た」など、6人の著名な漫画家が、原爆による被害の惨状やその後の被爆者の苦しみを描く。

720 ま 〈広〉
『はだしのゲン』を英語で読む



毎日文化センター広島 編
毎日新聞社 303P 2013年

中沢啓治原作の漫画『はだしのゲン』を、広く海外に普及するための英語版『BAREFOOT GEN』全10巻から名場面を抜き出し、単語や心に残る英語表現とともに紹介。英語版を読むための入門編で日本語解説付き。巻末に原作者の略歴・作品目録を収録する。

子どもたちへ原爆を語りつぐ本

726 く 〈広〉〈長〉
怒る犬



黒田 征太郎 著
日暮 真三 著
長友 啓典 著
岩波書店 62P 2012年

「原爆を落としたのは誰だ」「死んでいったのは誰だ」「地球を壊すのは誰だ」、「それは人間だ」。激しい色使いでアーティストックに描かれた、たくさんの怒っている犬の絵に、過ちを繰り返す人間のおろかさや平和へのメッセージを添える。英文併記。

726 な 〈広〉
はだしのゲンわたしの遺書



中沢 啓治 著
朝日学生新聞社 221P 2012年

6歳で被爆し、家族4人を亡くした中沢啓治。「原爆のことは忘れない」と思っていたが、母の死をきっかけに原爆漫画をかき始める。実体験を基に『はだしのゲン』をかいた著者が、原爆の実態と原爆への怒り、自身の人生を語る。著者年表と作品リストを付す。

770 い 〈広〉
少年口伝隊一九四五



井上 ひさし 著
ヒラノ トシユキ 絵
講談社 80P 2013年

原爆投下後の広島で、英彦・正夫・勝利は中国新聞の女性記者に出会う。3人は焼失した新聞社を手伝い、報道を口で伝えて歩く口伝隊として働くことになった。だがある日正夫に原爆症が現れ、勝利は巨大台風のため行方不明に……。朗読劇の表記を一部改め刊行。

916 け 〈広〉

『原爆の子』をうけついで
—こども・青年・市民の平和へのながい—
—長田新編『原爆の子』・発刊60年—



『原爆の子』をうけつぐ会 編

本の泉社 175P 2012年

『原爆の子』発刊60周年を記念し募集した『原爆の子』や「平和」についての文章の中から、入選作49編と特別寄稿5編を掲載。併せて2011年6月に開催された記念講演の内容も収録。2011年11月発行の刊行物に大学生や青年の文章を加え、増補・再編集した一冊。

916 さ 〈広〉

禎子の千羽鶴
(戦争ノンフィクション)



佐々木 雅 弘 著

学研パブリッシング 158P 2013年

広島で理髪店を営む両親の元に生まれた佐々木禎子は、元気で思いやりのある子だった。原爆投下からかろうじて生き延び、貧しいながらも幸せに暮らす一家だったが、ある日、12歳になった禎子が白血病と診断されてしまう。禎子をそばで見続けた実兄の手記。

916 よ 〈広〉

ぼくは満員電車で原爆を浴びた
—11歳の少年が生きぬいたヒロシマー—



米 澤 鐵 志 語り

由 井 りょう子 文
小学館 125P 2013年

1945年8月6日、母親とともに広島市を訪れた11歳の「ぼく」は、爆心地から750メートル離れた路面電車の中で被爆する。悲惨な光景を目にしながらも、何とか二人で疎開先にもどるが……。50年以上にわたってヒロシマの語り部を続ける男性の被爆体験を伝える。

子どもたちへ原爆を語りつぐ本

916 よ 〈広〉

読む知る話すほんとうにあったお話 6年生

講談社

159P

2013年



8月6日の朝、中学1年生の滋は、母から渡された弁当を持ち、建物疎開の作業場に来ていた。その時、強烈な光に包み込まれ——。広島平和記念資料館の展示品の“弁当箱”や“さんりんしゃ”の持ち主が被爆した時の話、「ヒロシマの記憶」。全12編の中の1編。



さくいん

さ
く
い
ん

さ く い ん

ア

青い空が繋がった……………	71
あかいほった……………	12
赤ずきん……………	12
あかちゃんかたつむりのおうち……………	1
あたしがおうちに帰る旅……………	40
「あの日」、そしてこれから……………	58
あひるの手紙……………	19
綾瀬はるか「戦争」を聞く……………	74
アーヤと魔女……………	30
ありがとう、チュウ先生……………	23
アンナのうちはいつもにぎやか……………	20

イ

いけのおと……………	2
イソップのおはなし……………	13
いちじくにんじん……………	2
1はゴリラ……………	2
いつか帰りたいほくのふるさと……………	57
一さつのおくりもの……………	19
犬になった王子……………	23
犬のことが聞こえたら……………	31
犬のバルボッシュ……………	52

ウ

うちはお人形の修理屋さん……………	31
うちは精肉店……………	63
宇宙探検えほん……………	62
海辺の宝もの……………	40
うわさごと……………	67

エ

駅の小さな野良ネコ……………	40
エディのごちそうづくり……………	13
エーミルとクリスマスのごちそう……………	33
エルトゥール号の遭難……………	46
エルヒー・メルゲンと七つの太陽……………	38

オ

おいしいほしがき……………	63
おいっちにおいっちに……………	13
おかしなゆき ふしぎなおおり……………	54
怒る犬……………	78
おどろきのスズメバチ……………	60
おばあちゃんの人形……………	66
お引越し……………	45
お船がきた日……………	34
おもいだしてくださいあのこともたちを……………	55
思い出をレスキューせよ！……………	58
おもちゃびじゅつかんでかくれんぼ……………	3
おやすみおやすみ……………	3
オレたちの明日に向かって……………	46

カ

かあさんふくろう……………	14
かえるくんどっちがどっち？……………	61
かかしのトーマス……………	32
過去への扉をあけろ……………	51
風をつかまえたウィリアム……………	24
語りつぐ者……………	47
神々の母に捧げる詩……………	24
紙コップのオリオン……………	44
神谷美恵子……………	56
ガリバーの冒険……………	24
かわいいゴキブリのおんなの子メイベルのぼうけん……………	30
川をのぼって森の中へ……………	57
カントリー・ロード……………	44

キ

奇跡はつばさに乗って……………	75
希望への扉リロダ……………	38
切り株ものがたり……………	36
金色の髪のお姫さま……………	53

ク

くぎになったソロモン……………	14
-----------------	----

くじらのあかちゃんおおきくなあれ…	3
くつがいく…	14
くまさんのおたすけえんぴつ…	15
くまの皮をきた男…	25
クリスマスのりんご…	30
くんくんにこいぬがうまれたよ…	4

ケ

原子力がわかる事典…	76
原爆といのち…	77
げんぱくとげんぱつ…	67
原爆の子の像…	72
『原爆の子』をうけついで…	79

コ

こおり…	59
ごきげんならいおん おくさんにんきものになる…	15
子どもに語る日本の神話…	29
木の葉のホームワーク…	51
ゴリラは語る…	61
コールド・ショルダー通りのなぞ…	47

サ

さがしています…	68
さくら…	25
禎子の千羽鶴…	79
さみしかった本…	25
さよならを待たふたりのために…	48
サラスの旅…	48
サリー・ジョーンズの伝説…	43
サンタさんのトナカイ…	15

シ

ジェドおじさんはとこやさん…	26
しっぽとおっぼ…	35
死の川とたたかう…	64
シフト…	49
ジャックと豆の木…	16

修学旅行で行ってみたい日本の世界遺産	5…77
14歳、ほくらの疾走…	52
シュモーさんとヒロシマの家…	66
少年口伝隊一九四五…	78
人類の歴史を変えた8つのできごと	2…72

ス

スターリンの鼻が落っこちた…	39
ストグレ！…	36
スプロケットおばさんのポケット…	4

セ

世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ…	54
世界を変えた建物…	62
戦争がなかったら…	57
せんそうってなんだったの？…	73
せんそうってなんだったの？第2期9…	73
せんそうってなんだったの？第2期10…	73

ソ

象使いティンの戦争…	47
ゾウと旅した戦争の冬…	41
ゾウの森とポテトチップス…	64
そんなときどうする？…	4

タ

大地のランナー…	41
平さんの天空の棚田…	63
タガメのいるたんぼ…	60
タマゾン川…	61

チ

ちいさなおはか…	68
小さなたね…	16
小さなミンディの大かつやく…	16
ちきゅうがウンチだらけにならないわけ…	5
チャーシューの月…	38

さ く い ん

チャーリーのはじめてのよる……………	17
ちょっとだけタイムスリップ……………	20
沈黙の殺人者……………	50

ツ

つぎ、とまります……………	5
月のしずくの子どもたち……………	26
つやつつやなす……………	5

テ

テディ・ロビンソンのたんじょう日…	21
テラプト先生がいるから……………	49
天狗ノオト……………	45
でんしゃがきた……………	6

ト

とけいのあおくん……………	17
図書館に児童室ができた日……………	26
図書館のトリセツ……………	55
泥棒をつかまえろ！……………	51

ナ

那須正幹童話集 5……………	71
名前をうばわれた少女……………	39
なみだでくずれた万里の長城……………	27

ニ

にげだしたファンクをさがせ！……………	20
ニブルとたいせつなきのみ……………	17
日本の戦争遺跡図鑑……………	74
庭師の娘……………	52

ネ

願いのかなうまがり角……………	28
ネコがすきな船長のおはなし……………	18
ねずみのオスカーとはるのおくりもの…	21

ねずみのつきめくり……………	6
----------------	---

ハ

バオアルのキツネたいじ……………	27
ばげばげはっぱ……………	6
はじめての北欧神話……………	28
はだかのサイ……………	34
はだしのゲン……………	68
はだしのゲンわたしの遺書……………	78
『はだしのゲン』を英語で読む……………	77
八月の光……………	70
発電所のねむるまち……………	41
バナナのはなし……………	7
はまべにはいしがいっぱい……………	7
はるをはしるえぞしか……………	7
パンがいっぱい……………	59
パンとバラ……………	48
ハンドブック原発事故と放射能……………	76
ハンナの学校……………	29
パン屋のこびととハリネズミ……………	32
パンヤンの木……………	50

ヒ

ビカドン きのご雲の下で見つけた宝物…	69
光のうつしえ……………	70
ビジュアル版学校の歴史 3……………	76
美術館にもぐりこめ！……………	64
ひとりでおとまりしたよるに……………	8
被爆アオギリと生きる……………	75
105にんのすてきなしごと……………	27
ヒロシマから「内部被ばく」と歩んで…	75

フ

ふしぎなボジャビのき……………	8
ふしぎな八つのおとぎばなし……………	39
舟をつくる……………	62
ブルースマンと小学生……………	37

へ

- 平和を考える戦争遺物 5……………74
弁当づくりで身につく力……………59

ほ

- ほくとヨシュと水色の空……………42
ほくの手わたしの手……………8
ほくは、いつでもほくだった。……………56
ほくは満員電車で原爆を浴びた……………79
星空ロック……………45
ホメーロスのイーリアス物語……………53

ま

- MY HIROSHIMA……………69
まちにはいろいろなおがいて……………9
マッチ箱日記……………35
マッティのうそとほんとの物語……………42
まほうのコップ……………9
マリアンは歌う……………35

み

- ミサゴのくる谷……………42
みつけたよさわったよにわのむし……………9
みどりのスキップ……………19
みやこのいちにち……………10
ミルクこぼしちゃだめよ！……………10

む

- むらの英雄……………18

め

- めざめれば魔女……………50
メリサンド姫……………31

も

- モッキンバード……………46
ものまね名人ツノゼミ……………60

や

- やさしい大おとこ……………21
闇を照らす六つの星……………56

よ

- 夜明けの落語……………29
読む知る話すほんとうにあったお話 6年生……………80
よるの美容院……………36

ら

- ライオンがいないどうぶつ園……………22
ライオンをかくすには……………10
ランドセルは海を越えて……………58

り

- リーかあさまのはなし……………28
りっぱな兵士になりたかった男の話……………43
竜が呼んだ娘……………37
林業少年……………37
リンゴの木の上のおばあさん……………32

ろ

- ローズの小さな図書館……………49

わ

- わたしのすてきなクリスマスツリー……………11
わたしのすてきなたびする目……………18
わたしはガリレオ……………55



原爆関係児童図書リスト

原爆関係児童図書リスト

(★は絵本・☆は紙芝居)

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
◎フィクション (物語、童話、絵本、紙芝居)			
青い空	柳生 研太郎 作・画	風 詠 社	2011 ★
青い空がつながった	毛利 まさみち うめだ ゆみ	新日本出版社	2014
アオギリのねがい	『被爆アオギリ二世』 の絵本をつくる会 作・画	広島平和教育研究所	1996 ★
アオギリのねがい (新版)	『被爆アオギリ二世』 の絵本をつくる会 作・画	広島平和教育研究所	2003 ★
アオギリよ芽をだせ	大川 悦生	新日本出版社	1992
赤い風よふけ	沢井 充子	汐文社	1986
赤い靴はいた	あおき てつお まんが 「シリーズ戦争」編集委員会 編	草土文化	1991
赤い靴はいた	あおき てつお	草土文化	1995
赤毛のポチ	山中 恒	理論社	1969
アサガオ	むらはし こまち 文・絵	らくだ出版	1982 ★
朝の別れを	大野 允子	ポプラ社	2001
明日が来なかった子どもたち	鶴 文乃	サンパウロ	2000
あしたの風 (ポプラ社文庫)	壺井 栄	ポプラ社	1978
あしたへげんまん	竹田 まゆみ	新日本出版社	1971
あした、またね!	大野 允子	ポプラ社	1991
あなたへ	大野 允子	あすなろ書房	1985
あの海の波間に	北川 幸比古 ほか 編	岩崎書店	1989
あの子らの碑	坂口 便	あらしき書店	1982
あの戦争のなかにぼくもいた	石浜 みかる	国土社	1992
あの夏の日	葉祥明 絵・文 長崎市 編集協力・英訳	自由国民社	2000 ★
あやかし草子	那須 正幹	日本標準	2011
あやと青い目の人形	松永 照正	クリエイティブ21	2003
あるハンノキの話	今西 祐行	実業之日本社	1966

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
あるハンノキの話 (借成社文庫)	今西 祐行	借成社	1976
ある日突然に	中沢 啓治	汐文社	1987
石のひとりごと ほか3篇	大石 千枝子 ほか	あらかき書店	1981
いつか見た青い空 上・下	中沢 啓治	汐文社	1986
いないいない、いない	大野 允子	国土社	1987
犬之介さんと小犬	藤本 正文	近代文芸社	1995
いま、戦争と平和を考えてみる。	峠 三吉 ほか	くもん出版	2009
今西祐行全集 6	今西 祐行	借成社	1988
いわたくんちのおばあちゃん	天野 夏美 作 はまの ゆか 絵	主婦の友社	2006 ★
うそつき咲っぺ	長崎 源之助	佼成出版社	1995
歌のとどく日	広島児童文学研究会 編	新日本出版社	1970
歌よ川をわたれ	沖井 千代子	講談社	1980
海をわたった折り鶴	石倉 欣二 作 指田 和子 文 牧野 鈴子 絵	小峰書店	2010 ★
海をわたったヒロシマの人形	大野 允子	文研出版	2011 ★
海に立つにじ	大野 允子	講談社	1965
海のむこうに	大西 伝一郎	汐文社	1985
海辺の砂をにぎりしめて	藤田 博保	大日本図書	1988
うわさごと	梅田 俊作 文・絵	汐文社	2012 ★
おかあさんの木	大川 悦生	ポプラ社	1969
おかあさんの木(ポプラ社文庫)	大川 悦生	ポプラ社	1979
おかあさんの木(ポプラポケット文庫)	大川 悦生	ポプラ社	2005
お菓子放浪記	西村 滋	理論社	1976
お菓子放浪記 正・続・完結	西村 滋	理論社	1994-2003
おこりじぞう -絵本-	山 子 沼 一 四 郎 口 田 田 国 勇 曜 五	原作 り 絵 星 の 金 星 社	1979 ★

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
おこりじぞう	山口 勇子	新日本出版社	1982
おじいちゃんの銀時計	はら みちを さく・え	らくだ出版	1995★
おじいちゃんは兵隊だった	竹野 栄	旺文社	1994
弟を地に埋めて	ロバート・スウィンデルズ 斉藤 健一 訳	福武書店	1988
音が消えた時	森本 マリア 著 小泉直子/ジム・ロナルド 英訳	吉備人出版	1999★
おばあさんのとっくり	砂田 弘	岩崎書店	1977
おばあさんのとっくり(フォア文庫)	砂田 弘	岩崎書店	1980
おばあちゃんの人形	佛教大学社会福祉学部・ 黒岩ゼミ 脚本・画	本の泉社	2013☆
おばあちゃんのももの木	山本 玲子	汐文社	1986
おばけ雲	来栖 良夫	新日本出版社	1969
おもいで箱-短編集-	松 永 伍 一 ほか	汐文社	1985
おりづるののって	中村 里美 文 吉田 しんこ 絵	ミューズの里	2010★
おりづるの旅	うみのしほ 作 狩野 富貴子 絵	PHP研究所	2003★
おりづるの旅-英語版-	SHIHO UMINO 作 KEIKO MIYAMOTO・STEVE LEEPER 訳 FUKIKO KARINO 絵	PHP研究所	2003★
おりづるの旅-ダリ語版-	うみのしほ 作 狩野 富貴子 絵	PHP研究所	2003★
おりづるの旅-ネパール語版-	うみのしほ 作 狩野 富貴子 絵	PHP研究所	2003★
おれたちのできなかったこと	大原 興三郎	PHP研究所	1996
かあさんのうた(おはなし名作絵本)	大野 允子 文 山中 冬児 絵	ポプラ社	1977★
かあさんのうた(ポプラ社文庫)	大野 允子	ポプラ社	1981
かあさんの野菊	山口 勇子	新日本出版社	1974
貝の鈴	山口 勇子	大日本図書	1970
かえってきたつりがね	児玉 辰春 作 長澤 靖 絵	鈴木出版	1996★
傘の舞った日	日本児童文学者協会 編	新日本出版社	2007
化石原人の告白	猪野 省三	学習研究社	1969

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
風のみた街	竹田 まゆみ	ポプラ社	1985
風のむらから さわこ	マオ アキラ	汐文社	1991
悲しい顔のマリア	原 之夫 作・絵	汐文社	1991★
かべにきえる少年	手島 悠介	講談社	1976
かべにきえる少年 (青い鳥文庫)	手島 悠介	講談社	1981
カモメの家	山下 明生	理論社	1991
かよこ桜	山本 典人	新日本出版社	1981
ガラスびんの夏	竹田 まゆみ	汐文社	1985
川とノリオ	いぬい とみこ	理論社	1982
川とノリオ (フォア文庫)	いぬい とみこ	理論社	1982
消えた夏休み	富家知道・富家美代子 大羽睦代	ウインかもがわ	2005
消えていく詩	大野 允子	ポプラ社	1976
北風は芽を	日本児童文学者協会 編	童心社	1970
北国の子どもたち	赤木 由子	講談社	1982
北の天使 南の天使	吉本 直志郎	ポプラ社	1982
北の天使 南の天使 (ポプラ社文庫)	吉本 直志郎	ポプラ社	1985
木は生きかえった	大川 悦生	新日本出版社	1986
霧に消えた少女	わたり むつこ	国土社	1985
金魚がきえた	山本美次 作・絵	汐文社	1989★
くちなしの花八月	児玉 辰春	草土文化	2001
雲のむこうに	毛利 まさみち 作・絵	汐文社	1996★
くらがり峠	今西 祐行	偕成社	1981
クレヨン王国月のたまご 1 (青い鳥文庫)	福永 令三	講談社	1986
クレヨン王国月のたまご	福永 令三	講談社	1998

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
クロがいた夏-絵本-	中 沢 啓 治 作・絵	汐 文 社	1990★
クロがいた夏-絵本-	中 沢 啓 治 著	DINO BOX	2011★
ケイコちゃんごめんね	奥 田 貞 子 作 宮 本 忠 夫 絵	ポ プ ラ 社	1983★
げんさん	大 野 允 子	あすなろ書房	1986
原子雲を見た子どもたち	坂 口 便	あらしき書店	1980
原子野の汽笛	坂 口 便	あらしき書店	1986
原子爆弾『でぶっちょ』	坂 口 便	あらしき書店	1988
げんばくとげんばつ	増 山 麗 奈 文・絵	子どもの未来社	2013★
げんばくとハマユウの花	桜 井 信 夫 文 鈴 木 義 夫 絵 宮 崎 二 美 脚 江 口 準 次 本	ほるぶ出版	1981★
原爆の子さだ子の願い	山 下 ま さ と 作・絵	汐 文 社	1994☆
原爆の少女ちどり	岩 崎 京 子 文 毛 利 ま さ み ち る 絵 上 野 さ か る 文 藤 わ か な 絵	新日本出版社	2000★
原爆の火		B O C 出版部	2005★
ここに居ることおかあさんにしらせて		学 習 研 究 社	1999
心がホッとする話1年生下・2年生下・4年生下		小 学 館	1983
心でさげんでください	お お え ひ で	新日本出版社	2008
こすもすべーカリー物語	日 本 児 童 文 学 者 協 会 編	新日本出版社	2002
ことりになったエノキ	白 木 恵 委 子	ポ プ ラ 社	1996
五十年めの手紙	長 崎 源 之 助	朝日学生新聞社	2011
この空の下で	井 上 雅 博	あかね書房	1969
ごめんねぽっこ	山 下 夕 美 子	童 心 社	2012★
さがしています	ア-サー・ビナード 作 岡 倉 禎 志 写 カール・ブルックナー 著 片 岡 啓 治 訳	よ も 出 版	2000
サダコ	S H A N T I 作	オーロラ自由アトリエ	1994
さだ子と千羽づる	フ-ジョア・ミナラ 著 うねざき まさこ 訳	アント・ヒロシマ	2008★
サダコの祈り			

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
サダコの祈り -ダリ語版-	Fauzia Aziz Minallah 絵・文	Fauzia Aziz Minallah	2007 ★
サダコは生きる	K. ブルックナー 著 片岡啓治 訳	学習研究社	1963
さようならかげぼうし	木村英代	汐文社	1985
さよならをいう時間もない	ジュディ=ブルーム 作 長田敏子 訳	偕成社	1991
三年三組なきむしメソコ先生	山下夕美子	ポプラ社	1985
十五年めのおくりもの	柴山一郎	金の星社	1997
十四才の夏	大谷美和子	汐文社	1990
ジュノー -絵本版-	津谷静子 文 enjin productions・UNION CHO 絵	ありがとう出版(発行)	2008 ★
シュモーさんとヒロシマの家	シュモーさんの「ヒロシマの家」を語つた会 作 山先方江 絵	シュモーさんの「ヒロシマの家」を語つた会	2013 ☆
昭ちゃんの紙芝居	山口昭治 作	木戸出版	2005 ★
昭和二十年八さいの日記	佐木隆三 文 黒田征太郎 絵	石風社	2011 ★
白いチマチョゴリ	徳永和子	教育画劇	1991
白い鳥とねむの木の町	大野允子	小峰書店	1990
白い町ヒロシマ	木村靖子	金の星社	1983
白い町ヒロシマ (フォア文庫)	木村靖子	金の星社	1985
白い町ヒロシマ-英語版-	YASUKO KIMURA 作 NOBUKO UENO ほか 訳	文化評論出版	1985
白い物語	中島信子	汐文社	1985
伸ちゃんのさんりんしゃ	児玉辰春 作 おぼまこと 絵	童心社	1992 ★
伸ちゃんのさんりんしゃ-英語版-	CHART INSTITUTE 編著	数研出版	1994
スカーフは青だ	山口勇子	新日本出版社	1969
世界でいちばん悲しいクラス	坂口便	あらき書店	1981
1983年熱い秋のノート	中澤晶子	汐文社	1985
「戦争と平和」子ども文学館 16	長崎源之助 ほか 編	日本図書センター	1995
「戦争と平和」子ども文学館 17	長崎源之助 ほか 編	日本図書センター	1995

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
「戦争と平和」子ども文学館 18	長崎 源之助 ほか 編	日本図書センター	1995
千羽づるのねがい	山下 夕美子	小学館	1975
それから	榎田 伸子 作・絵	汐文社	1992★
太陽の落ちた日	来栖 良雄 ほか 編	労働教育センター	1980
助けてあげられなくてごめんね	広島市立段原小学校 平和教育推進委員会 編	広島市立段原小学校	2003★
脱走者たち	片山 昌造	理論社	1973
小さな赤いてぶくろ	西野 綾子 文 渡辺 俊明 絵	ひくまの出版	1983★
ちいさなおはか	おおた 康治 文 鈴木 治 絵	芸文社	2012★
チコとじぞうさん	大野 允子	国土社	1977
地図にない島へ	武田 英子	農文協	1990
ちちんぷいぷいとんでいけ	小野 和子	汐文社	1985
因(チナミ)の木と少女たちの40年	菊地 澄子	汐文社	1986
チビ兵行進曲	熊谷 本郷	汐文社	1989
ちゃんちゃこばあちゃん	正田 篠枝	太平出版社	1980
チュイホアねえさん	日中児童文学美術 交流センター 編	フレーベル館	1994
チョウのいる丘	那須田 稔	講談社	1968
チョウのいる丘 (青い鳥文庫)	那須田 稔	講談社	1972
土の中の顔	坂口 便	あらしき書店	1982
つる	エリナー・コア こども エド・ヤング 文 絵	日本図書センター	2005★
つるにのって -アニメ版-	ミホ・シボ 原案	金の星社	1994
つるのとぶ日	大野 允子 ほか 編	東都書房	1963
つるのとぶ日	大野 允子 ほか	講談社	1977
つるのとぶ日 (青い鳥文庫)	大野 允子 ほか	講談社	1980
テナンの少女	石上 正夫	汐文社	1985

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
転校生とぼくの秘密	野矢一郎	小峰書店	1986
天に焼かれる	金崎是作・絵	汐文社	1989★
とうちゃんの涙	下村仁一作・絵	汐文社	1989★
灯ろう	原のぶこ	汐文社	1992
とうろうながし	松谷みよ子 文 丸木俊 絵	偕成社	1985★
遠い国からきた小さな友だち	こにしひでこ	新風舎	2007
十日間のお客	関英雄 ほか 編	小峰書店	1970
時の石	那須正幹	文溪堂	1994
跳ぶんだったら、いま!	吉本直志郎	ポプラ社	1979
跳ぶんだったら、いま! (ポプラ社文庫)	吉本直志郎	ポプラ社	1984
とべ、ぼくの鳩よ	下嶋哲朗	金の星社	1984
友よ・夏の花・原爆詩	林京子 ほか	金の星社	1985
長崎にいた小人のフ란ツ	大川悦生	国土社	1988
ナガサキの男の子	森下真理	太平出版社	1985
ナガサキのおばあちゃん	高橋克雄	『ナガサキのおばあちゃん』 出版支援会	2006
ながさきの子うま	大川悦生	新日本出版社	1984
ナガサキの花	畑島喜久生	らくだ出版	1989
長崎のふしぎな女の子	大川悦生 文 大宮崎耕平 絵	ポプラ社	1983★
長崎のふしぎな女の子 (ポプラ社文庫)	大川悦生	ポプラ社	1985
なぐさめの天使	坂口便	あらし書店	1981
那須正幹童話集 5	那須正幹	ポプラ社	2014
夏の記憶	丘修三	汐文社	1992
夏の花	成城国文学会 編	ポプラ社	1984
夏の花たち	鈴木ゆき江	ひくまの出版	2004

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
虹	早船ちよ	汐文社	1985
虹をみた日	大野允子	ポプラ社	1995
二度と	松井エイコ 脚本・絵	童心社	2005 ☆
二年2組はヒヨコのクラス	山下夕美子	理論社	1980
二年2組はヒヨコのクラス	山下夕美子	理論社	1983
人形がかぞえる子もりうた	白根厚子	草炎社	1996
人形マリー	山口勇子	新日本出版社	1980
人形レストラン	怪談レストラン編集委員会(編)	童心社	2004
ねこになった少年	征矢清	岩波書店	1988
ねこになった少年(岩波少年文庫)	征矢清	岩波書店	1996
野の花は生きる	いぬい とみこ	童心社	1972
バオバブのゲンバク	木村功 ほか	汐文社	1986
ハコちゃん・あるハンノキの話ほか	今西祐行	実業之日本社	1981
走れひばく電車	まさきかずみ 文 しげとう さちよ 絵	ひろしま女性学研究所	2008 ★
はだしのゲン(コミックス版) 1~10	中沢啓治	汐文社	1975~87
はだしのゲン-絵本-	中沢啓治 作・絵	汐文社	1980 ★
はだしのゲン(児童文学版) 上・中・下	中沢啓治 原作 深沢一夫 作	汐文社	1980~81
はだしのゲン 全10巻(愛蔵版)	中沢啓治	汐文社	1988
はだしのゲン-紙芝居-1~5	中沢啓治 作・絵	汐文社	1991 ☆
はだしのゲン(中公文庫版) 1~3	中沢啓治	中央公論社	1996
はだしのゲン-テレビドラマ版-	中沢啓治 原作	汐文社	2007
はだしのゲン	中沢啓治 著 Elizabeth Baldwin 訳	DINO BOX	2013 ★
はだしのゲン自伝	中沢啓治	教育資料出版会	1994
八月がくるたびに(どうわの本棚)	おおえひで	理論社	1971

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
八月がくるたびに (理論社名作の愛蔵版)	おおえ ひ で	理 論 社	1978
八月がくるたびに (フォア文庫)	おおえ ひ で	理 論 社	1982
八月がくるたびに -新・名作の愛蔵版-	おおえ ひ で	理 論 社	2001
八月の少女たち	大 野 允 子	新 日 本 出 版 社	1985
八月のすきまに	辛 島 萌	新 日 本 出 版 社	2005
八月の光	朽 木 祥	偕 成 社	2012
8月6日のこと	中 川 ひろたか 文 長谷川 義 史 絵	ハモニカブックス	2011 ★
はとよひろしまの空を	大 川 悦 生	ポ プ ラ 社	1979
はとよひろしまの空を-アニメ版-	大 川 悦 生 原作 大川弘子/大川富美文	ポ プ ラ 社	1999 ★
母の川	大 野 允 子	小 学 館	1978
浜ひるがおの花が咲く	おおえ ひ で	汐 文 社	1985
遙かなトナカイの国	清 水 道 尾	岩 崎 書 店	1991
パンプキン!	令 丈 ヒロ子	講 談 社	2011
ピカ	西 本 伸 絵と文	あ ゆ み 出 版	1984 ★
ピカッ子ちゃん	正 田 篠 枝	太 平 出 版 社	1977
ピカッ!ドン!!はもうやめて!!!	久 野 登久子 文 佐 藤 八重子 絵	フ レ ー ベ ル 館	2010 ★
ピカドン	小 崎 侃 作・版画	汐 文 社	1991 ★
ピカドン	木 下 蓮 三 木 下 小夜子	ダ イ ナ ミ ッ ク セ ラ ー ズ 出 版	1979
ピカドン (新装改訂版)	木 下 蓮 三 木 下 小夜子	ダ イ ナ ミ ッ ク セ ラ ー ズ 出 版	2009
ピカドン (復刻新版)	丸 木 位 里 著 丸 木 俊 著	小 峰 書 店	1987 ★
ピカドン きのこ雲の下で見つけた宝物	佐 藤 廣 枝 著 南有田 秋 徳 挿絵	H P S 国 際 ポ ラ ン テ イ ア	2013 ★
ピカドンたけやぶ	は ら みちを 作・絵	岩 崎 書 店	1983 ★
光のうつしえ	朽 木 祥	講 談 社	2013
光の消えた日	いぬい とみこ	岩 波 書 店	1978

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
光る夏 一たつひこ	マ オ アキラ	童 心 社	1993
彼岸花はきつねのかんざし	朽 木 祥	学 習 研 究 社	2008
ひーちゃんはいった	大 野 允 子	ポ プ ラ 社	1977
ひーちゃんはいった(ポプラ社文庫)	大 野 允 子	ポ プ ラ 社	1984
一つの花 (ポプラ社文庫)	今 西 祐 行	ポ プ ラ 社	1983
一つの花(ポプラポケット文庫)	今 西 祐 行	ポ プ ラ 社	2005
ひとりひとりの戦争	菊 地 澄 子	理 論 社	1975
火の話	黒 田 征太郎 作	石 風 社	2011★
100 ばんめのサル	ケン・キース・ ジュニア 原作	国 土 社	1987★
ピラミッド帽子よ、さようなら	乙 骨 淑 子	理 論 社	1981
ピラミッド帽子よ、さようなら (復刻版)	乙 骨 淑 子	理 論 社	2010
ヒロクンとエンコウさん	四 国 五 郎 作・絵	汐 文 社	1989★
ヒロシマ 1～3	那 須 正 幹	ポ プ ラ 社	2011
ヒロシマから帰った兄	マリアン・D・パウアー 作 久 米 穰 訳	佑 学 社	1992
ヒロシマからきたマメじぞう	山 口 勇 子	太 平 出 版 社	1983
ヒロシマ子どもたちの夏	村 上 啓 子	溪 水 社	1995
広島昭和 20 年 8 月 6 日	遊 川 和 彦	汐 文 社	2005
ヒロシマとハワイを結ぶ物語	うねざき まさこ	アント・ヒロシマ	2008
ヒロシマに原爆がおとされたとき	大 道 あ や 著	ポ プ ラ 社	2002★
広島にチンチン電車の鐘が鳴る	きむら け ん	汐 文 社	1999
ヒロシマのいのちの歌	鈴 木 ゆき江	ひくまの出版	2001
ヒロシマのいのちの水	指 田 和 文 野 村 たかあき 絵	文 研 出 版	2009★
ヒロシマのうた	関 英 雄 ほか編	小 峰 書 店	1971
ヒロシマのうた	日本児童文学者協会 編	小 峰 書 店	1986

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
ヒロシマのうた (講談社文庫)	今西 祐行	講談社	1976
ヒロシマのうた (フォア文庫愛蔵版)	今西 祐行	岩崎書店	1994
ヒロシマの歌	今西 祐行	岩崎書店	1982
ひろしまのエノキ	長崎 源之助 作 二 崎 保 英五郎 絵	童心社	1988 ★
ひろしまのおデット	日本児童文学者協会 編	童心社	1972
ヒロシマのおとうさん -絵本-	高橋 昭博 文 四 国 五 郎 絵	汐文社	1983 ★
ヒロシマの子守唄	菊地 正	汐文社	1985
広島姉妹 (岩崎少年文庫)	山本 真理子	岩崎書店	1973
広島姉妹 (フォア文庫)	山本 真理子	岩崎書店	1979
広島姉妹 -英語訳-	山本 真理子 原作 梅田 修 編訳	三友社出版社	1984
ヒロシマの少女	大野 允子	盛光社	1969
広島の友	山本 真理子	岩崎書店	1995
ヒロシマの夏	子どもと文学の会 編	国土社	1990
広島母たち	山本 真理子	岩崎書店	1982
広島母たち (フォア文庫)	山本 真理子	岩崎書店	1985
ヒロシマの火	山口 勇子	新日本出版社	1988
ヒロシマのピアノ	指田 和子 文 坪 谷 令 子 絵	文研出版	2007 ★
ひろしまのピカ	丸木 俊え 文	小峰書店	1980 ★
ひろしまのピカ -英語版-	Toshi Maruki 作 Judith Elkin 英訳	A & C Black	1983 ★
ヒロシマ、八月、炎の鎮魂歌	大野 允子	ポプラ社	1998
ヒロシマへ行って	谷田川 和夫 原 渡 辺 本 泰 案 宮 留 本 忠 絵 宇 留 佳 子 福 賀 代 樹	汐文社	1990 ☆
ピンク色の雲	宇留 佳子 文 福 賀 代 樹 絵	てらいんく	2007 ★
ふたりのイーダ	松谷 みよ子	講談社	1969
ふたりのイーダ (青い鳥文庫)	松谷 みよ子	講談社	1980

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
ふたりのイーダ	松谷みよ子	講談社	1982
ふたりのイーダ	松谷みよ子	埼玉福祉会	1985
ふたりのイーダ	松谷みよ子	講談社	1995
ふたりのイーダ (新装版)	松谷みよ子	講談社	2006
ふたりの英雄	日本児童文学者協会 編	童心社	1971
ふりそでの少女	松添博 作・絵	汐文社	1992★
平和のちかい (復刻版)	稲庭桂子 脚本 佐藤忠良 作画	子どもの文化研究所	1979☆
平和のちかい	稲庭桂子 脚本 佐藤忠良 作画	童心社	2005☆
平和への祈り	町屋住い 作線 Nき い ち	大空社	1995☆
ぼくは生きている	尾崎正義 作・絵	汐文社	1992★
ポケネコにゃんころりん 8	山本悦子	童心社	2012
星からきたカード	大川悦生	汐文社	1985
MY HIROSHIMA	森本順子 著	HPS国際ボランティア	2010★
MY HIROSHIMA	森本順子 作・絵	HPS国際ボランティア	2011★
MY HIROSHIMA	森本順子 作・絵	HPS国際ボランティア	2012★
まちんと	松谷みよ子 文 司谷みよ子 絵	偕成社	1978★
まちんと (改訂版)	松谷みよ子 文 司谷みよ子 絵	偕成社	1983★
まっ黒なおべんとう	児玉辰春	新日本出版社	1989
まっ黒なおべんとう - 絵本 -	児玉辰春 文 長澤靖 絵	新日本出版社	1995★
魔法のぶた	司修	汐文社	1985
まめたんばあさん	大野允子	あすなろ書房	1987
マレーシアの語り人	かつお きんや	汐文社	1985
マンモスの夏	大原興三郎	文溪堂	1995
みえちゃんの集団疎開	原美恵子	原美恵子	1991

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
みえちゃんの集団疎開 -英語版-	Mieko Hara	Mieko Hara	1992
みえちゃんの集団疎開	はら みえこ さく 段原中学校美術部 え	段原中学校美術部	1993
見えないトゲ	大野 允子	国土社	1970
見えないほうがよかった	坂口 便	あらしき書店	1980
ミサコの被爆ピアノ	松谷 みよ子	講談社	2007
ミチコとクミ	深沢 一夫	汐文社	1986
見てるよ! ヒトミ	槻野 けい	汐文社	1985
みどりの川のぎんしよきしよき	いぬい とみこ	福音館書店	1978
南の風の物語	おおえ ひで	理論社	1961
ミヨちゃんの笛	白井 史朗 作・絵	汐文社	1989★
むかえじぞう	吉本 直志郎 ぶん 遠藤 てるよ え	ポプラ社	1980★
むかえじぞう	吉本 直志郎 作 飯原 一夫 絵	佼成出版社	1991★
麦畑のカマキリ	和田 勝恵	汐文社	1986
むらさき色のピカ	馬場 淑子	太平出版社	1981
もうひとつのヒロシマ	仲里 三津治	講談社	2008
もえたじゃがいも	入野 忠芳 作・絵	汐文社	1989★
もえる吹雪	菊地 鮮	汐文社	1985
野球バカ	中沢 啓治	汐文社	1986
やくそくのどんぐり	大門 高子 文 松永 禎郎 絵	新日本出版社	2010★
焼けあとの白鳥	日本児童文学者協会 編	小峰書店	1986
ヤン一族の最後	三浦 精子	汐文社	1985
やんばる君	中野 慶	童心社	2000
夕焼けの記憶	大野 允子	国土社	1973
ユーカリの木の下で	中沢 啓治	汐文社	1986

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
ゆみ子とつばめのおほか	今西 祐行	借成社	1971
ゆめくい雲とアッコちゃん	黒崎 美千子 作・絵	汐文社	1992★
ゆりさんの花物語	大野 允子	P H P 研究所	1989
ようすけ君の夢	上村 吉・真柳 タケ子 語り 佛教大学社会学部・社会福祉学科 文絵 田中 愛・越智 裕希美	佛教大学社会学部・ 佛教大学福祉教育開発センター	2006★
ようすけ君の夢	上村 吉・真柳 タケ子 語り 佛教大学黒岩ゼミ 文絵 田中 愛・越智 裕希美	クリエイツかもがわ	2008★
よっちゃんのビー玉	児玉 辰春	新日本出版社	1990
よっちゃんのビー玉-絵本-	児玉 辰春 ぶん 北島 新 平 え	新日本出版社	1996★
四年一組にきた子	竹田 まゆみ	ポプラ社	1983
らくだい先生	広島・子どもと 教師の文学の会 編	ポプラ社	1982
リトルボーイ	吉本 直志郎	ポプラ社	2005
りよおばあさん	おおえ ひで	実業之日本社	1972
るいるいとるいるいと	竹田 まゆみ	汐文社	1987
ルミちゃんの赤いリボン	奥田 貞子 文 奥宮 本 忠 夫 絵	ポプラ社	1983★
ロクの菜の花畑	竹田 まゆみ	汐文社	1996
ロザリオの祈り 1～3	さかい ともみ	教育出版センター	1984
ロザリオの祈り 1・2-まんが-	青空 風太郎 漫画 さかい ともみ 原作	教育出版センター	1984・1985
わすれていてごめんね	緒方 俊平 画・文	ガリバープロダクツ	2000
わたしのヒロシマ	森本 順子 作・文	金の星社	1988★
わたしのヒロシマ-英語版-	JUNKO MORIMOTO 作 ANNE BOWER INGRAM 編 ISAO MORIMOTO ほか 訳	C O L L I N S	1987★
わたしのヒロシマ-英語版-	JUNKO MORIMOTO 作 ANNE BOWER INGRAM 編 ISAO MORIMOTO ほか 訳	ブッキング	2006★
わたしはひろがる	岸 武雄 詩 辻本 洋太郎 染絵	小峰書店	1994★
わたしはひろがる (改訂版)	岸 武雄 子作 長谷川 知子 絵	子どもの未来社	2010★
わらってお母さん	たから さき 文 たから さやか 絵	クリエイティブ21	2004★
ん子先生お元気で、ねっ	日本子どもの本研究会 編	ほるぶ出版	1993

〈書 名〉 〈著 者 名〉 〈発行所〉 〈刊年〉

SADAKO OF HIROSHIMA MANORAMA JAPA Khas Kitab 1997

◎ノンフィクション（随筆、日記、記録、手記、写真集など）

- ああ麗しき太田川 広島県立広島工業高等学校同窓会 編 広島県立広島工業高等学校創立100周年事業実行委員会 1997
- アイオイ橋の人影 オフチンニコフ 北 畑 静 子 訳 富 山 房 1974
- 青い地球はぼくたちのもの 創価学会婦人平和委員会 編 第 三 文 明 社 1986
- 証 広島市立高等女学校・広島市立舟入高等学校同窓会（編） 広島市立高等女学校・広島市立舟入高等学校同窓会 2005
- 暁の超特急 辺 見 じゅん 今 井 書 店 2001
- 悪魔の銀のサイコロ
（改題、ヒロシマの雨はドームの涙 Part Ⅲ） 国際平和教育研究会 編 教育出版センター 1975
- アジア・太平洋戦争 ポ プ ラ 社 2006
- あしたきらきら No. 1・2 伊 藤 真 理 子 詩 伊 藤 真 理 子 詩 団（平和のためのヒロシマ通訳グループ）訳 ス ュ ッ ク ル 1994
- あの日… 日本原水爆被害者団体協議会 編 新 日 本 出 版 社 1995
- あの日から生きて生きて 東京都原爆被害者団体協議会 編 汐 文 社 1986
- あの日のこと 西 山 進 文・絵 クリエイティブ21 2005
- あの日、広島と長崎で 平和博物館を創る会 編 平和のアトリエ 1994
- あの日を、ぼくは忘れない 名 柄 堯 勉 誠 出 版 2008
- あの日を、わたしは忘れない 河 野 きよみ 勉 誠 出 版 2008
- アメリカ 槐 一 男 岩 崎 書 店 1990
- 綾瀬はるか「戦争」を聞く TBSテレビ [NEWS 23] 取材班 編 岩 波 書 店 2013
- 歩いて見てほしいひろしま原爆の木たち 大 川 悦 生 た か の 書 房 1995
- いしづみ 広島テレビ放送 編 ポ プ ラ 社 1970
- いしづみ（ポプラ社文庫） 広島テレビ放送 編 ポ プ ラ 社 1983
- いしづみ（改訂新版） 広島テレビ放送 編 ポ プ ラ 社 2005

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
一瞬に消えさった爆心の町	広島平和記念資料館 編	広島平和記念資料館	2001
いのちが未来をもてるように		日本生活協同組合連合会	1986
いのちを学ぼう平和学習実践集 3		汐文社	2002
INORI	綾野まさる	ハート出版	2010
遺品は語る	深沢一夫	汐文社	1982
いま戦争を考える No. 2	日本作文の会 編	百合出版	1987
妹たちへの手紙	中山千夏	国土社	1984
海をわたる被爆ピアノ	矢川光則	講談社	2010
絵でよむ日本の歴史 6	鈴木亮彦 編 中妻雅彦	大月書店	1990
NHK日本映像の20世紀 5		ポプラ社	2003
絵で読む広島原爆	那須正幹	福音館書店	1995
絵で読む広島原爆-英語版-	Masamoto Nasu 文 Joana King・Yuki Tanaka 訳	福音館書店	1998
怒る犬	黒田征太郎	岩波書店	2012
恐ろしい本	長谷川四郎	筑摩書房	1970
おはなし日本地理 11	入江敏夫ほか 編	岩崎書店	1978
オマールさんを訪ねる旅	早川幸生 編	かもがわ出版	1994
想い出のサダコ	大倉記代	よも出版	2005
オヤジがライバルだった	中里喜昭	筑摩書房	1984
折り鶴に出会った子どもたち	三省堂 編	三省堂	2003
折り鶴の子どもたち	那須正幹	PHP研究所	1984
折り鶴の少女	たいらまさお	偕成社	1988
折り鶴は世界にはばたいた	うみのしほ	PHP研究所	1998
かあさん牛の涙	菊地澄子	ポプラ社	1989
かあさんと呼ばれた	山口勇子 編	草土文化	1964

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
かあさんと呼べた日	山口 勇子	草土文化	1979
ガイドブックヒロシマ	原爆遺跡保存運動懇談会 編	新日本出版社	1996
かえってきた瓢湖の白鳥	神戸 淳吉 ほか	講談社	1984
加害基地宇品	空 辰 男	汐文社	1994
核災害からの復興	高 田 純	医療科学社	2005
学習に役立つものしり事典365日 8月		小峰書店	1990
核の時代をどういきるか	伊 東 壮 編	ポプラ社	1991
核のない 21 世紀を	片桐直樹 原案 田中館哲彦 構成	汐文社	2001
核はほんとうに安全か	伊 東 壮	ポプラ社	1990
風のように炎のように 峠三吉	岩崎 健二 作・画	峠三吉記念事業委員会	1993
語り伝える空襲 第5巻	安 斎 育 郎	新日本出版社	2008
語り伝えるヒロシマ・ナガサキ 1~5	安 斎 育 郎	新日本出版社	2004
学校演劇で平和を学ぶ	上 田 精 一	草の根出版会	2004
神の子たち	日本児童文学者協会 ほか 編	草土文化	1979
奇跡はつばさに乗って	源 和 子	講談社	2013
キノコ雲に追われて	ロバート・トランブル 著 吉井 知代子 訳	あすなろ書房	2010
きのご雲の下で	重 高 ヨシコ	重高ヨシコ	2005
希望のヒロシマ	平 岡 敬	岩波書店	1996
君と感動の日々を	上 田 精 一	民衆社	1985
きみには関係ないことか	京都家庭文庫地域文 庫連絡会 編	かもがわ出版	1984
きみには関係ないことか	京都家庭文庫地域文 庫連絡会 編	京都家庭文庫地域 文庫連絡会	1991
きみには関係ないことか -戦争と平和を考えるブックリスト'90~'96-	京都家庭文庫地域文 庫連絡会 編	かもがわ出版	1997

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
きみには関係ないことか -戦争と平和を考えるブックリスト'97~'03-	京都家庭文庫地域文庫連絡会 編	かもがわ出版	2004
きみには関係ないことか -戦争と平和を考えるブックリスト'03~'10-	京都家庭文庫地域文庫連絡会 編	かもがわ出版	2011
九州史跡見学	川添昭二	岩波書店	1989
「夾竹桃物語-わすれていてごめんね」 絵画・読書感想文集			
		「夾竹桃物語-わすれていてごめんね」 絵画・読書感想文事務局	2002
きょうはなんの日? 7月・8月	布施孝子	ポプラ社	1999
ゲン in ヒロシマ	中沢啓治 原作 木島恭 脚本・詞	講談社	1999
原子爆弾投下	吉田悟郎 ほか 編	岩崎書店	1983
原子力がわかる事典		PHP研究所	2012
原子力のことがわかる本		数研出版	2003
原子力への道を開いた人々	藤本陽一	さ・え・ら書房	1966
原水爆とのたたかい	日高六郎	国土社	1963
原爆瓦	山口勇子	平和文化	1982
原爆写真 ノーモアヒロシマ・ナガサキ	黒古一夫・清水博義 編 James Dorsey 訳	日本図書センター	2005
原爆手記掲載図書・雑誌総目録 1945-1995	宇吹暁 編著	日外アソシエーツ	1999
原爆といのち	手塚治虫 ほか	金の星社	2013
原爆ドームの祈り	長谷川敬	講談社	1995
原爆ドーム物語	汐文社編集部 編	汐文社	1990
原爆の絵 -ナガサキの祈り-	NHK長崎放送局 編	日本放送出版協会	2003
原爆の絵 -ヒロシマの記憶-	NHK広島放送局 編	日本放送出版協会	2003
原爆の絵 -図録-	広島平和記念資料館 編	岩波書店	2007
原爆の絵 HIROSHIMA	童心社 編	童心社	1977
「原爆の絵」と出会う	直野章子	岩波書店	2004

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
原爆の子 (改版)	長田新 編	岩波書店	1970
原爆の子 (ワイド版岩波文庫) 上・下	長田新 編	岩波書店	2010
原爆の子の像	川野登美子	文化評論	2013
「原爆の子の像」と「折鶴」(再版)	豊田清史	火幻社	2003
「原爆の子」をうけついで	「原爆の子」をうけつぐ会 編	「原爆の子」をうけつぐ会	2011
『原爆の子』をうけついで	「原爆の子」をうけつぐ会 編	本の泉社	2012
原爆の実相を語りつぐ被爆者からの伝言	日本原水爆被害者 団体協議会 編	あけび書房	1995
原爆の図	丸木位里 丸木俊	丸木美術館	1983
原爆の図 - 普及版完本 -	丸木位里 丸木俊	小峰書店	2000
原爆の図物語	宇佐美承	小峰書店	1985
原爆の火の長い旅	山口勇子	新日本出版社	1991
原爆は終わっていない	埼玉県立朝霞高等 学校1年2組	埼玉県立朝霞高等 学校1年2組	1990
原爆被爆者は訴える	広島平和文化センター 編	広島平和文 化センター	1988
原爆被爆者は訴える - 英語版 -	Hiroshima Peace Culture Foundation 編	Hiroshima Peace Culture Foundation	1990
原爆ヒロシマ	寺尾知文	光人社	1982
原爆碑を洗う中学生	小林文男	草の根出版会	2005
原爆文献大事典	文献情報研究会 編著	日本図書センター	2004
原爆 - 見えない放射線の被害	広島平和記念資料館 編	広島平和記念資料館	2000
原爆モニュメント物語	広島県歴史教育者 協議会	平和文化	1984
原爆予告をきいた	日本児童文学者協会 日本子どもを守る会 編	草土文化	1983
高校生の正しい夏	岩波書店編集部 編	岩波書店	1989
小倉に原爆が落ちた日	朝日新聞社西部本社 社会部 編	あらし書店	1983
骨壺	日本児童文学者協会 ほか 編	草土文化	1979
子どもたちに伝えたい - 原発が許されない理由	小出裕章	東邦出版	2011

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
子どもたちの見たヒロシマ	文 沢 隆 一 編	汐 文 社	1982
子どもにおくる戦争があったころの話	鈴 木 喜代春 ほか 編	ら く だ 出 版	2006
子どもにつたえる世界の戦争と平和1	荒 井 信 一 ほか 編	日本図書センター	1995
子どもにつたえる世界の戦争と平和5	荒 井 信 一 ほか 編	日本図書センター	1995
子ども日本風土記 34 - 広島 -	日本作文の会 編	岩 崎 書 店	1980
子ども日本風土記 42 - 長崎 -	日本作文の会 編	岩 崎 書 店	1980
子どものころ戦争があった	あかね書房 編	あ か ね 書 房	1974
子どもの作文で綴る戦後50年 1	日本作文の会 編	大 月 書 店	1995
子どもの作文で綴る戦後50年 11	日本作文の会 編	大 月 書 店	1995
こども平和文集 第12号	平和協会・児童部 編	平 和 協 会	1996
ごめんね、お母さん	荒 木 正 夫	ポ プ ラ 社	1991
こんな学校があるよ	名 取 弘 文	ポ プ ラ 社	1997
最後の手紙	立 川 昭 二	筑 摩 書 房	1990
さいごのトマト	竹 本 成 徳	日本生活協同組合連合会出版部	2010
作文が好きになる事典 3・4年		講 談 社	1995
サダコ - 「原爆の子の像の物語」	NHK 広島「核・平和」プロジェクト	日本放送出版協会	2000
禎子の千羽鶴	佐々木 雅 弘	学研パブリッシング	2013
さよなら、先生	織 井 青 吾	ポ プ ラ 社	1982
サヨナラはお乳の匂い	荒 木 正 夫	あ ら き 書 店	1988
シゲコ!	菅 聖 子	借 成 社	2010
地獄からの汽車 (改題、ヒロシマの雨は ドームの涙 Part II)	国際平和教育研究会 編	教育出版センター	1975
事前に調べる修学旅行パーフェクトガイド6		金 の 星 社	2003
知っておきたい放射線のこと	放射線等に関する 副読本作成委員会	文 部 科 学 省	2011

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
知っておきたい放射線のこと 解説編 教師用	放射線等に関する副読本作成委員会	文部科学省	2011
自分ってなんだろう？	小島昌世	ポプラ社	1995
修学旅行で行ってみたい日本の世界遺産 第5巻	本田純・小松亮一 清野賢司	岩崎書店	2007
修学旅行で行ってみたい日本の世界遺産 5(新版)	本田純ほか	岩崎書店	2014
15歳のナガサキ原爆	渡辺浩	岩波書店	2002
13歳からの平和教室	浅井基文	かもがわ出版	2010
集団疎開生活と原爆被災	正規寺疎開児童の会 編	正規寺疎開児童の会	2003
14歳の生涯	中本昭ほか	汐文社	1986
少女・十四歳の原爆体験記	橋爪文	高文研	2001
少女・十四歳の原爆体験記(新版)	橋爪文	高文研	2011
少年口伝隊一九四五	井上ひさし ヒラノトシユキ	講談社	2013
昭和の歴史 中		くもん出版	1989
調べ学習日本の歴史 8		ポプラ社	2000
調べ学習に役立つ宇宙から見た日本の地理と産業 5		あかね書房	1998
しらべ学習に役立つ日本の歴史 12	古川清行	小峰書店	1995
シリーズ憲法 9条 第1巻	歴史教育者協議会 編	汐文社	2006
シリーズ国連 2 平和へのとりくみ	半田博 蔵元幸二	リブリオ出版	1993
シリーズ戦争遺跡 3	辻隆広 編	汐文社	2010
知ることから始めよう放射線のいろいろ	放射線等に関する副読本作成委員会	文部科学省	2011
知ることから始めよう放射線のいろいろ 解説編 教師用	放射線等に関する副読本作成委員会	文部科学省	2011
新図解わたしたちの日本地理 - 中国・四国地方 -		学習研究社	1997
新聞で調べよう現代日本の50年1~3	現代日本の50年編集委員会 編	大日本図書	1995
人類の歴史を変えた8つのできごと 2	眞淳平	岩波書店	2012

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
世界遺産原爆ドーム	広島市市民局 平和行政推進室 広島平和文化センター 編	広島市市民局	1997
世界じゅうに、愛の手を	望月正子ほか	講談社	1984
世界と出会う日本の歴史 5	歴史教育者協議会 編	ほるぶ出版	1999
世界の「戦争と平和」博物館 第6巻	草の根出版会 編	日本図書センター	1997
せこへい	世界の子どもの平和像 を広島につくる会 編	部落問題研究所	2002
1941年12月8日	江口圭一	岩波書店	1991
1945年8月15日	和歌森太郎ほか 編	岩崎書店	1995
1945年8月6日	伊東社	岩波書店	1979
1945年8月6日(新版)	伊東社	岩波書店	1989
戦後50年学童疎開の子どもたち 第3巻	嘉藤長二郎ほか 編	汐文社	1995
せんそう	日本作文の会 編	岩崎書店	1991
戦争がやってくる	藤井治夫	筑摩書房	1991
せんそうってなんだったの? 第7巻		学習研究社	2007
せんそうってなんだったの?	ささきありほか 夏目尚吾ほか	学研教育出版	2013
せんそうってなんだったの?第2期9	井上こみち すがわらけいこ	学研教育出版	2014
せんそうってなんだったの?第2期10	光丘真理 藤本四郎	学研教育出版	2014
戦争と郷土の歴史を考える		福武書店	1992
「戦争と平和」子ども文学館 別巻	長崎源之助ほか 編 長谷川潮	日本図書センター	1995
戦争は終わった	ハインリッヒ・ベル 好村富士彦 ほか 編訳	ほるぶ出版	1988
象のいなくなった動物園	近野十志夫 編	小峰書店	1994
空から地下を探るには?	西尾元充	筑摩書房	1988
第二次世界大戦 10	槐一男	太平出版社	1985
太平洋戦争はじまる	笠原秀	ポプラ社	1990
太陽が消えたあの日	長崎放送報道部 編	童心社	1972

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
訪ねてみよう戦争を学ぶミュージアム/メモリアル	〔記憶と表現〕研究会	岩波書店	2005
たった一発の爆弾でヒロシマ20万人、 ナガサキ10万人が死んだ。	労働教育センター編集部 編	労働教育センター	2011
七夕にねがいをこめて	武田英子	岩崎書店	1985
たのしい観察記録の作文5年生	日本作文の会 編	小峰書店	1993
チェルノブイリから広島へ	広河隆一	岩波書店	1995
中学生の春夏秋冬	石川逸子	岩波書店	1984
中学生のための「総合」アイデアBOOK 1	滝口正樹	ポプラ社	2001
中学生の読書のために	川口昭三	民衆社	1989
中国・四国歴史の町	三浦はじめ	P H P 研究所	1994
地理学習の旅-ジュニア版- 2		あすなろ書房	2001
チ口の星まつり	藤井旭	ポプラ社	1988
翼のヒロシマ	町田樹生	飛鳥出版室	2011
ドウユーノウサダコ?	守屋敦子	よも出版	2002
飛べ!千羽づる	手島悠介	講談社	1982
飛べ!千羽づる (青い鳥文庫)	手島悠介	講談社	1986
飛べ!千羽づる (新装版)	手島悠介	講談社	1989
飛べ!千羽づる (新装版)	手島悠介	講談社	2000
どんなくらしをしてるかな	ヒルデガルト・ハウブリック ハートウィック・ハウブリック 編 松村亮一・松本千里 訳	古今書院	1991
永井隆	中井俊巳	童心社	2007
長崎 -カラー版-	原田博二	岩波書店	2006
ナガサキー 1945年8月9日	長崎総合科学大学 平和文化研究所 編	岩波書店	1984
ナガサキー 1945年8月9日 (新版)	長崎総合科学大学 平和文化研究所 編	岩波書店	1995
長崎原爆絵巻崎陽のあらし	深水経孝	草の根出版会	2003
ナガサキに翔ぶ	山脇あさ子	新日本出版社	1996

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
ナガサキの空	畑 島 喜久生	らくだ出版	1986
長崎を忘れない	渡 辺 千恵子	草 土 文 化	1980
長崎原爆資料館	ピースウィング長崎 長崎平和推進協会 編	長崎平和推進協会	2000
夏雲	広島女学院教職員組合 平和教育委員会 編	広島女学院教職員組合	2001
夏服の少女たち	大 野 允 子	ポ プ ラ 社	1989
なみだのファインダー	松 重 美 人	ぎ ょ う せ い	2003
仁科芳雄／本多光太郎	関 口 たか広 漫画	ほ る ぶ 出 版	1991
20世紀を一緒に歩いてみないか	村 上 義 雄	岩 波 書 店	2001
21世紀こども百科歴史館		小 学 館	1999
日本と世界のちがいを考える本-国際理解にやくだつ- 7		ポ プ ラ 社	2000
日本と世界のちがいを考える本-国際理解にやくだつ- 8		ポ プ ラ 社	2000
日本の遺跡と遺産 7	矢 野 慎 一	岩 崎 書 店	2009
日本の戦跡を見る	安 島 太佳由	岩 波 書 店	2003
日本の戦争遺跡図鑑		P H P 研 究 所	2013
日本の地理 3 中国・四国	小 島 晃 編	あ ゆ み 出 版	1990
日本の歴史 5	宇 野 俊 一 ほか編	集 英 社	1991
日本の歴史 下	高 橋 碩 一 ほか	岩 崎 書 店	1987
日本の歴史博物館・史跡 7		あ か ね 書 店	1999
猫ちゃんは帰らない	黒 川 万千代	民 衆 社	1983
ノーモア核兵器	服 部 学	草 土 文 化	1983
爆心地ヒロシマに入る	林 重 男	岩 波 書 店	1992
初めて知った戦争	秋 山 正 美 編	日 本 図 書 セ ン タ ー	1993
はだしのゲンはピカドンを忘れない	中 沢 啓 治	岩 波 書 店	1982
はだしのゲンはヒロシマをわすれない	中 沢 啓 治	岩 波 書 店	2008

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
はだしのゲンわたしの遺書	中 沢 啓 治	朝日学生新聞社	2012
『はだしのゲン』を英語で読む	毎日文化センター広島 編	毎 日 新 聞 社	2013
はばたけ千羽鶴	豊 田 清 史	筑 摩 書 房	1982
母と子でみる原爆を撮った男たち	反核・写真運動 編	草 の 根 出 版 会	1987
母と子でみるヒバクシャ	桐 生 広 人	草 の 根 出 版 会	1995
母と子でみる広島・長崎	朝日新聞企画部 編	草 土 文 化	1983
ハンドブック原発事故と放射能	山 口 幸 夫	岩 波 書 店	2012
ピカドン	講 談 社 編	講 談 社	2003
ピカドン	丸 木 位 里 丸 木 俊	東 邦 出 版	1982
ピカドンのきのご雲	日本児童文芸家協会 編	ポ プ ラ 社	1975
ピカドンの青春	小井手 桂 子	三 修 社	1985
ひかりのたね	天 野 文 子	汐 文 社	1992
ビジュアル版学校の歴史 3	岩 本 努 ほか	汐 文 社	2012
ビジュアル版平和博物館・戦跡ガイド1・2	佐藤広基・本地桃子	汐 文 社	2004
ピース・アニメを創る	ミホ・シボ	か も が わ 出 版	1993
人は昭和をどう生きてきたか	原 田 勝 正	ポ プ ラ 社	1990
ひとり調べができる時代別日本の歴史12		学 習 研 究 社	1997
一人ぼっちの焼けあと	秋 山 正 美 編	日本図書センター	1993
被爆アオギリと生きる	広 岩 近 広	岩 波 書 店	2013
被爆者	会 田 法 行	ポ プ ラ 社	2005
被爆者たちの戦後50年	栗 原 淑 江	岩 波 書 店	1995
火ははたらく	大 竹 三 郎	大 日 本 図 書	1987
碑めぐり研修録	日本大学第二中学校	日本大学第二学園 日本大学第二中学校第三学舎	2003

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
ひろしま －これはわたしたちのさげびです－	小学校平和教育 教材編集委員会 編	広島平和教育研究所	1984
ひろしま －原爆をかんがえる－	広島県平和教育 教材編集委員会 編	広島平和教育研究所	1984
ひろしま －今日の核時代を生きる－	広島平和教育 研究所 編	広島平和教育研究所	1993
ひろしま －今日の核時代を生きる－ (改訂版)	広島平和教育 研究所 編	広島県教育用品	1997
ひろしま－15年戦争と広島－	広島平和教育 研究所 編	広島平和教育研究所	1986
ひろしま －平和教育教材写真集－	広島県原爆被爆 教職員の間 編	広島平和教育研究所	1984
ひろしま碑・遺跡・平和あんない	広島平和教育 研究所ほか 編	広島平和教育研究所	1984
ヒロシマ語り部の歌	大野 允子	汐文社	1999
ヒロシマから「内部被ばく」と歩んで	肥田 舜太郎	クレヨンハウス	2012
ヒロシマ希望の未来	澤野 重男	平和文化	2010
広島県の民話	日本児童文学者協会 編	偕成社	1979
ひろしま国	中国新聞社 編	明石書店	2009
ヒロシマ心の旅路	児玉辰春	岩崎書店	1996
ヒロシマ・コレクション	土田ヒロミ	日本放送出版協会	1995
ヒロシマ散歩	植野 浩	汐文社	1997
広島修学旅行ハンドブック	平和・国際教育研究会 編	平和文化	1999
広島修学旅行ハンドブック(第6版)	平和・国際教育研究会 編	平和文化	2006
ヒロシマ 1945～1979	土田ヒロミ	朝日ソノラマ	1979
広島第二県女二年西組	関 千枝子	筑摩書房	1985
広島第二県女二年西組(ちくま文庫)	関 千枝子	筑摩書房	1988
ヒロシマ読本(第15版 ほか5冊)	小堀吉光 広島平和文化センター 編	広島平和文化センター	1978-1992

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
ヒロシマ・ナガサキ	現代出版編集部	現代出版	1982
広島・長崎からの伝言	大川悦生	岩崎書店	1990
広島・長崎市児童生徒平和のつどい感想文集	広島・長崎市児童生徒平和のつどい実行委員会	広島・長崎市児童生徒平和のつどい実行委員会	2004
広島・長崎市児童生徒平和のつどい感想文集 平成17年度	広島・長崎市児童生徒平和のつどい実行委員会	広島・長崎市児童生徒平和のつどい実行委員会	2005
広島長崎修学旅行案内	松元寛	岩波書店	1982
広島長崎修学旅行案内(新版)	松元寛	岩波書店	1998
広島・長崎でなにが起こったのか	飯島宗一	岩波書店	1982
ヒロシマ、ナガサキ、フクシマ	田口ランディ	筑摩書房	2011
ヒロシマに生きて	原田東岷	草の根出版会	1999
ヒロシマの証	土田ヒロミ ほか	岩波書店	1982
ヒロシマの雨はドームの涙 (改題、ヒロシマの雨はドームの涙 Part I)	小川利雄	教育出版センター	1975
ヒロシマの碑 ^{いしほ}	宅和純	広島県教育用品	1996
広島のいしづみはみつめる 第1集	西尾隆昌	西尾隆昌	1982
広島のいしづみはみつめる 第2集	西尾隆昌	西尾隆昌	2000
広島のおばあちゃん 過去 現在 未来	鎌田七男	鎌田七男ソフトプロジェクト	2005
ヒロシマの原子雲	高城肇	借成社	1972
ヒロシマの子	森下弘 ほか	平和文化	1983
ヒロシマ、遺された九冊の日記帳	大野允子	ポプラ社	2005
ヒロシマの旅	広島県歴史教育者協議会 ほか	平和文化	1983
ヒロシマの被爆建造物は語る	被爆建造物調査委員会	広島平和記念資料館	1996
広島の歴史ものがたり	広島県郷土史研究会	日本標準	1981
ヒロシマは語る	「ヒロシマは語る」刊行委員会	広島県原爆被害者団体協議会	1997

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
ヒロシマは世界をむすぶ	小島昌世	ポプラ社	1999
広島平和の親子バスツアー感想文集	原水爆禁止加古川市協議会 編	原水爆禁止加古川市協議会	1993
ヒロシマ・平和のリボン	ヒロシマ・平和のリボンの会 編	ヒロシマ・平和のリボンの会	1991
ヒロシマ「平和への出発」	創価学会婦人平和委員会 編	第三文明社	1987
広島ろう学校被爆と疎開の記録	広島県立ろう学校平和教育資料編纂委員会 編	広島県立広島ろう学校	1996
ヒロシマを世界に	広島平和記念資料館 編	広島平和記念資料館	1999
ヒロシマを持ちかえた人々	市場淳子	凱風社	2000
ヒロシマを持ちかえた人々(新装増補版)	市場淳子	凱風社	2005
兵隊ぐらしとピカドン	江戸家猫八	ポプラ社	1983
平和－国家・核・教育－	広島平和文化センター 編	広島平和文化センター	1989
平和記念資料館学習ハンドブック-小学生用-	広島平和記念資料館	広島平和記念資料館	2001
平和記念資料館学習ハンドブック-中・高生用-	広島平和記念資料館	広島平和記念資料館	2001
平和公園碑めぐりガイドブック	生活協同組合ひろしま 編	生活協同組合ひろしま	1986
平和公園碑めぐりガイドブック(改訂版)	生協ひろしま碑めぐりガイドの会	生協ひろしま碑めぐりガイドの会	2007
「平和宣言」を読む(平成22年ほか14冊)	広島平和文化センター 編	広島平和文化センター	1994・2011
平和の木	長崎源之助	童心社	1990
平和のたからもの	寺田志桜里	くもん出版	2001
平和の芽	横山秀夫	講談社	1995
平和博物館・戦争資料館ガイドブック(増補)	歴史教育者協議会 編	青木書店	2004
平和への祈り	平山郁夫	毎日新聞社	1998
平和を祈る人たちへ	被爆60周年記念証言集編集委員会 編	広島女学院同窓会	2005
平和を考える絵本	全国学校図書館協議会ブックリスト委員会	全国学校図書館協議会	1992
平和を考える小中学生作文集 第15集	沼津市財務部 編	沼津市財務部	2004
平和を考える戦争遺物 5		汐文社	2014

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
平和をねがう「原爆の図」	楠木 しげお	銀の鈴社	2012
放射線について考えてみよう	放射線等に関する副読本作成委員会	文部科学省	2011
放射線について考えてみよう 解説編 教師用	放射線等に関する副読本作成委員会	文部科学省	2011
ぼく生きたかった	名越謙蔵 名越操	労働教育センター	1982
ぼくと兄の日章旗	中野孝次	ポプラ社	1995
ぼくの戦争	秋山勝彦	ウインかもがわ	2004
ぼくのピース・メッセージ	山本コウタロー	岩波書店	1990
ぼくの町は「戦場」だった	BBCイギリス放送 山中恒	編訳 平凡社	1990
ぼくは満員電車で原爆を浴びた	米澤鐵志 由井りょう子	小学館	2013
ぼくらは生きたい	加藤茂男	ポプラ社	1983
本当は怖いだけじゃない放射線の話	大脳博善	ワック	2002
緑のドクター	藤崎康夫	くもん出版	1988
娘よ、ここが長崎です	筒井茅乃	くもん出版	1985
娘よ、ここが長崎です	筒井茅乃	くもん出版	2007
目で見る戦争とくらし百科4		日本図書センター	2001
燃える日本列島	来栖良夫ほか編	童心社	1969
燃える日本列島（フォア文庫）	来栖良夫ほか編	童心社	1985
もっと知りたい日本の現代史	鈴木亮	ほるぷ出版	1991
焼け跡に風が吹く	山福康政	福音館書店	1995
山梨の被爆アオギリ二世	岡田清	岡田清	2005
遺言「ノー・モア・ヒロシマ」 第1集～第5集	ヒロシマ青空の会 編	ヒロシマ青空の会	2004・2008
夕焼けの子どもたち	那須正幹	岩崎書店	1990
ユネスコ世界遺産原爆ドーム	中国新聞社 編	中国新聞社	1997

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
よみがえるふるさと	秋山正美 編	日本図書センター	1993
読む知る話すほんとうにあったお話 6年生		講談社	2013
流光	修道中学・高等学校記念誌「流光」編集委員会 編	修道中学・高等学校	1995
ルルの家の絵かきさん	宇佐美 承	偕成社	1978
私の戦争	黒木和雄	岩波書店	2004
私はニュースキャスター	久和ひとみ	岩波書店	1989
わたしがちいさかったときに	長田新ほか	童心社	1967
わたしがちいさかったときに (フォア文庫)	長田新 編	童心社	1989
わたしからのメッセージ	広島市立鞆町中学校「この世界に平和を！」委員会	広島市立鞆町中学校	2001
わたしたちのアジア・太平洋戦争 3	古田足日・米田佐代子・西山利佳 編	童心社	2004
わたしたちのいのち・健康・未来	名原壽子 編 加藤文三	汐文社	1991
わたしたちの戦争体験 7	日本児童文芸家協会	学研教育出版	2010
わたしの少女時代	池田理代子 ほか	岩波書店	1979
わたしの8月15日	あかね書房 編	あかね書房	1975
私はヒロシマ・ナガサキに原爆を投下した	チャールズ・W・スウィーニー ほか著 黒田剛 訳	原書房	2000

◎詩歌

挨拶ー原爆の写真によせて	石垣りん	岩崎書店	2009
愛する人へ	門倉 訣	けやき書房	1987
あおい空に	松永伍一 編	童心社	1996
いのり	立原えりか 編	太平出版社	1985
いま中学生とよみたい101の詩	木坂涼 編 水内喜久雄	民衆社	1999
教室でよみたい詩12か月 ー小学校3・4年ー	水内喜久雄 編著	民衆社	1995

〈書 名〉	〈著 者 名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
教室でよみたい詩 12 か月 -小学校5・6年-	水 内 喜久雄 編著	民 衆 社	1995
原子雲の下より (青木文庫)	峠 三 吉 編	青 木 書 店	1952
原子雲の下より	被爆実態調査会 編	亜 紀 書 房	1989
原爆詩集 (新装・愛蔵版)	峠 三 吉	合 同 出 版	1995
交響詩集ヒロシマ	水 野 潤 一	丸ノ内出版 (発売)	1999
子どもと心を見つめる詩 詩集 にんげんをかえせ	西 郷 竹 彦	黎 明 書 房	1996
詩のわかる本 中学3年	峠 三 吉	新日本出版社	1995
小学生詩のくにへ 12	畑 島 喜久生 編	国 土 社	1997
少年のひろしま	新 川 和 江 編	太 平 出 版 社	1988
戦争と人間	大 平 数 子	草 土 文 化	1981
空になった少年	川 崎 洋 編	岩 崎 書 店	1997
日本の子どもの詩 34	シゲミ・ヨシダ	岩 崎 書 店	1995
母よ誰が	日本作文の会 編	岩 崎 書 店	1984
	浪 谷 清 視 一 吉 田 定 一 編	金 の 星 社	1985

※ このリストに掲載している図書は、一部を除いて貸出ができます。
詳しくは、次の市立図書館窓口でお尋ねください。

こども図書館

〒730-0011
広島市中区基町5番83号
(こども文化科学館と併設)
TEL 082-221-6755
FAX 082-222-7020
原爆ドーム前電停下車
徒歩約3分

中央図書館

〒730-0011
広島市中区基町3番1号
(映像文化ライブラリーと併設)
TEL 082-222-5542
FAX 082-222-5545
広島バスセンターから徒歩約5分
アストラムライン県庁前駅から徒歩約4分

中区図書館

〒730-0812
広島市中区加古町4番17号
(アステールプラザ2階)
TEL 082-248-9300
FAX 082-247-8447
加古町バス停
下車徒歩約2分

東区図書館

〒732-0055
広島市東区東屋町10番31号
(東区民文化センターと併設)
TEL 082-262-5522
FAX 082-264-2610
広島駅から徒歩約10分
東区役所前バス停
下車正面

南区図書館

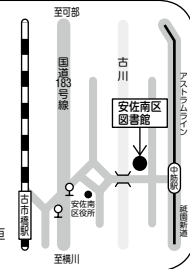
〒732-0816
広島市南区比治山本町16番27号
(南区民文化センターと併設)
TEL 082-251-1080
FAX 082-252-4120
皆実町一丁目バス停
下車徒歩約2分
南区役所前電停下車
徒歩約3分

西区図書館

〒733-0013
広島市西区横川新町6番1号
(西区民文化センターと併設)
TEL 082-234-1970
FAX 082-295-9287
横川駅から徒歩約5分

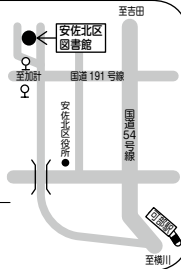
安佐南区図書館

〒731-0122
 広島市安佐南区中筋
 一丁目2番17号
 (安佐南区民文化
 センターと併設)
 TEL 082-879-5060
 FAX 082-879-8536
 下古市バス停下車
 徒歩約10分
 アストラムライン中筋駅下車
 徒歩約2分



安佐北区図書館

〒731-0221
 広島市安佐北区部部
 七丁目28番25号
 (安佐北区民文化
 センターと併設)
 TEL 082-814-0340
 FAX 082-814-0604
 安佐北区民文化センター
 入口バス停下車
 徒歩約8分



安芸区図書館

〒736-8508
 広島市安芸区船越南
 三丁目2番16号
 (安芸区民文化
 センターと併設)
 TEL 082-824-1056
 FAX 082-824-1057
 海田市駅から徒歩約7分
 船越町・安芸区役所バス停下車
 徒歩約1分



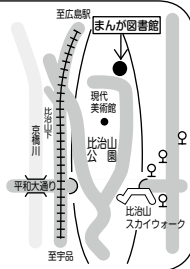
佐伯区図書館

〒731-5128
 広島市佐伯区五日市中央
 六丁目1番10号
 (佐伯区民文化
 センターと併設)
 TEL 082-921-7560
 FAX 082-924-0742
 佐伯区民文化センター前
 バス停下車
 徒歩約2分



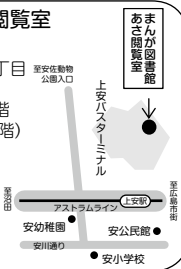
まんが図書館

〒732-0815
 広島市南区比治山公園
 1番4号
 TEL 082-261-0330
 FAX 082-262-5406
 比治山下電停下車
 徒歩約10分
 段原中央バス停下車
 徒歩約13分



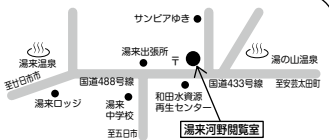
まんが図書館あさ閲覧室

〒731-0154
 広島市安佐南区上安二丁目
 30番15号
 上安バスターミナル3階
 (ベルテガーデンA棟2階)
 TEL 082-830-3675
 FAX 082-830-3676
 アストラムライン上安駅下車
 徒歩約1分
 上安バスターミナル下車
 徒歩約1分



佐伯区図書館湯来河野閲覧室（やまゆりホール）

〒738-0601
 広島市佐伯区湯来町大字和田353番地の1
 TEL 0829-40-4005 FAX 0829-83-0134
 大橋（湯来出張所前）バス停下車 徒歩約10分



「ほんはともだち'14」編集委員

公募委員

幼 児 向 け

天 本 京 子 栗 栖 智 子 村 本 佐 知 子

小 学 校 低 学 年 向 け

小 池 佳 代 河 野 優 子 辰 上 加 代 子

小 学 校 中 学 年 向 け

中 田 み どり 原 朋 子 藤 田 幸 子

小 学 校 高 学 年 向 け

鈴 木 尚 子 友 野 紀 代 水 田 明 美

中 学 生 向 け

射 原 幸 子 梅 地 佳 代 子 角 田 寛 子

吉 崎 智 子

ノ ン フ ィ ク シ ョ ン

角 田 寛 子 栗 栖 智 子 辰 上 加 代 子

中 田 み どり 水 田 明 美

(五十音順)

職 員

野 口 雅 子 佐 藤 睦 子 楠 木 加 予

川 上 夏 奈 子 菅 原 佐 和 子 伊 藤 雅 子

播 磨 優 子 村 本 佳 子 井 手 紗 弓



ほんはともだち '14

子どもの心を育てる良書目録

(2012年4月～2014年3月)

発行日 平成27(2015)年3月11日

編集 「ほんはともだち'14」編集委員会

発行 公益財団法人広島市文化財団 広島市こども図書館

〒730-0011 広島市中区基町5番83号

電話 (082) 221-6755

